

Xylella fastidiosa に関する
病害虫リスクアナリシス報告書

令和7年1月21日 改訂

農林水産省横浜植物防疫所

主な改訂履歴及び内容

平成	28 (2016)	年	3 月	25 日	作成
平成	31 (2019)	年	3 月	25 日	発生国の追加 (スペイン) 及び削除 (トルコ)、宿主植物の追加 (65 種)
令和	2 (2020)	年	3 月	25 日	発生国の追加 (イスラエル) 及び宿主植物の追加 (アオゲイトウ等 98 種及びヒトツバエニシダ属)
令和	3 (2021)	年	2 月	3 日	宿主植物の追加 (アメリカノウゼンカズラ等 117 種)
令和	4 (2022)	年	12 月	1 日	宿主植物の追加 (アデノカルプス・ラインジイ等 16 種)
令和	6 (2024)	年	2 月	19 日	宿主植物の追加 (イタリアニンジンボク等 26 種)、発生国の追加 (ポルトガル)
令和	7 (2025)	年	1 月	21 日	宿主植物の追加 (トキワサンザシ等 7 種)

目次

はじめに.....	1
I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害植物）.....	1
1. 学名及び分類.....	1
2. 地理的分布.....	2
3. 宿主植物及び日本国内での分布.....	3
4. 感染部位及びその症状.....	3
5. 移動分散方法.....	4
6. 生態.....	5
7. 媒介性又は被媒介性.....	5
8. 被害の程度.....	6
9. 防除.....	6
10. 診断、検出及び同定.....	6
11. 日本における輸入検疫措置.....	7
12. 諸外国における輸入検疫措置.....	7
II 病害虫リスクアナリシスの結果.....	10
第1 開始（ステージ1）.....	10
1. 開始.....	10
2. 対象となる有害動植物.....	10
3. 対象となる経路.....	10
4. 対象となる地域.....	10
5. 開始の結論.....	10
第2 病害虫リスク評価（ステージ2）.....	11
1. 有害動植物の類別.....	11
2. 農業生産等への影響の評価.....	11
3. 入り込みの可能性の評価.....	13
4. <i>Xylella fastidiosa</i> の病害虫リスク評価の結論.....	15
第3 病害虫リスク管理（ステージ3）.....	16
1. <i>Xylella fastidiosa</i> に対するリスク管理措置の選択肢の検討.....	16
2. 経路ごとの <i>Xylella fastidiosa</i> に対するリスク管理措置の選択肢の特定.....	19
別紙1 <i>Xylella fastidiosa</i> の発生国等の根拠.....	21
別紙2 <i>Xylella fastidiosa</i> の宿主植物の根拠.....	22
別紙3 <i>Xylella fastidiosa</i> の宿主植物に関連する経路の年間輸入検査量 （発生国からの貨物、郵便物及び携帯品）.....	86
引用文献.....	94

はじめに

Xylella fastidiosa は、アメリカ合衆国、ブラジル等でブドウ属、ミカン属等に対する経済的被害が報告されている病原細菌である。大韓民国では本細菌の宿主植物の輸入を禁止し、ニュージーランドでは病害虫無発生地域等の検疫措置を要求している。

本細菌は、日本では植物防疫法施行規則（農林省, 1950）別表 1 に規定されている検疫有害植物であり、同施行規則別表 2 の 2 に規定されている国又は地域から輸入される宿主植物の生植物（栽培の用に供するもの）については、輸出国での血清学的診断法又は核酸の塩基配列を検出するために適切と認められる方法による検査を要求している。

今般、本細菌の新たな宿主植物に関する情報があつたことから、改めて本細菌に対するリスク評価を実施し、現行の検疫措置の有効性を評価するため、病害虫リスクアナリシスを実施した。

I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害植物）

1. 学名及び分類

(1) 学名 (LPSN, 2024; Wells et al., 1987)

Xylella fastidiosa Wells et al. 1987

(2) 英名、和名等 (CABI, 2024)

英名 : Pierce's disease of grapevines; alfalfa dwarf; almond leaf scorch; citrus variegated chlorosis; dwarf lucerne; oleander leaf scorch; pear leaf scorch; pecan leaf scorch; periwinkle wilt; phony disease of peach; plum leaf scald

和名 : なし

(3) 分類 (LPSN, 2024)

種類 : 細菌

科 : Lysobacteraceae

属 : *Xylella*

(4) シノニム

情報なし。

(5) 系統等

本細菌は木部局在性の難培養性細菌であり、宿主植物ごとに異なる病名が付けられている。便宜的に宿主植物の違いによる系統（ブドウ系統、アーモンド系統、モモ系統等）分けがなされているが、2010 年以降に分子系統解析により、本細菌種の下位分類として以下のように亜種が報告されている (Dupas et al., 2019; EFSA, 2013, 2022; EPPO GDB, 2024a; Hernandez-Martinez, 2007; Nunney et al., 2014; Randall et al., 2009; Schaad, 2004)。

X. fastidiosa の種より下位の分類は未だ途中であることから、本報告書では、亜種及び系統を含める。また、亜種として報告される前に報告された論文については、そのまま系統と称することとする。

亜種	主な宿主植物	主な地理的分布
subsp. <i>fastidiosa</i>	アーモンド、キスツス・モンスペリエンス、サクランボ、セイヨウキョウチクトウ、ペルシャグلمミ、ポリガラ・ミルティフォリア、マンネンロウ、エリシムム属、コーヒーノキ属、ストレプトカルパス属、スノキ（コケモモ）属、ブドウ属	台湾、イスラエル、スペイン（バレアレス諸島）、アメリカ合衆国、コスタリカ、メキシコ
subsp. <i>pauca</i>	アーモンド、オリーブ、サクランボ、セイヨウキョウチクトウ、マンネンロウ、コーヒーノキ属、ツルニチニチソウ属、ミカン属	イタリア、スペイン（バレアレス諸島）、フランス、アルゼンチン、エクアドル、コスタリカ、ブラジル
subsp. <i>multiplex</i>	アメリカスズカケノキ、アーモンド、イチジク、オリーブ、セイヨウスモモ、ペカン、ポリガラ・ミルティフォリア、モモ、アカシア属、コナラ属、スノキ（コケモモ）属、ニレ属、バラ属、ラウアンドウ属	イタリア、スペイン（バレアレス諸島、バレンシア州）、フランス、アメリカ合衆国、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ
subsp. <i>sandyi</i>	セイヨウキョウチクトウ、コーヒーノキ属	アメリカ合衆国
subsp. <i>morus</i>	ナンテン、クワ属	アメリカ合衆国
subsp. <i>tashke</i>	チタルパ・タシュケンテンシス	アメリカ合衆国

ブドウ系統は、ヨーロッパブドウ、アメリカブドウ及び *Vitis riparia* が主要な宿主植物であり、台木種である *V. aestivalis*、*V. berlandieri*、*V. candicans*、*V. rupestris* 及びハイブリッド種の *V. rotundifolia* には抵抗性がある。また、ブドウ系統はアーモンドに leaf scorch disease を引き起こすが、アーモンド系統は、ブドウの植物体内に低密度で感染し、病気を引き起こすことはない（CABI, 2024）。

モモ系統は、モモの全ての栽培品種、ハイブリッド種及び台木種に感染し、セイバンモロコシのような果樹園の雑草にも感染するが、ブドウには感染しない（CABI, 2024）。

ニレ属系統とアメリカスズカケノキ系統は、ブドウへ感染することは知られていない（CABI, 2024; Sherald, 1993）。

2. 地理的分布

(1) 国又は地域（詳細は別紙1参照。）

アジア：台湾

中東：イスラエル、イラン

欧州：イタリア、スペイン、フランス、ポルトガル

北米：アメリカ合衆国、カナダ

中南米：アルゼンチン、エクアドル、コスタリカ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、メキシコ

(2) 生物地理区

本細菌は、東洋区、旧北区、新北区及び新熱帯区の計4区に分布する。

3. 宿主植物及び日本国内での分布

(1) 宿主植物（詳細は別紙2参照）

本細菌の宿主範囲は非常に広く、数十科に及ぶ。主な宿主植物は、カエデ属 (*Acer* spp.)、セイヨウキョウチクトウ (*Nerium oleander*)、ペカン (*Carya illinoensis* (= *Carya pecan*))、トウグワ (*Morus alba*)、アメリカスズカケノキ (*Platanus occidentalis*)、ニレ属 (*Ulmus* spp.)、サクラ属 (*Prunus* spp.)、ナシ属 (*Pyrus* spp.)、オランダフウロ属 (*Erodium* spp.)、ブドウ属 (*Vitis* spp.) 及びミカン属 (*Citrus* spp.) である。

(2) 日本国内における宿主植物の分布及び栽培状況

本細菌の宿主植物であるブドウは47都道府県で栽培されている。ミカン属は東北（宮城県及び山形県）以南に分布している。サクラ属は街路樹、自生木を含めて全国に分布しており、コナラ属は沖縄県以外の全国に自生している。

4. 感染部位及びその症状

本細菌は根、茎及び葉脈内の木部道管内で増殖する。細菌の凝集、感染に伴って植物がチロースや粘着物を形成し、道管が詰まる。宿主植物によっては、細菌は感染部位に留まるが、感受性の高い宿主植物では道管を通して全身に移動し、全身感染する可能性がある (EPPO GDB, 2024a)。

本細菌による被害が発生しているのは、主にブドウ、ミカン属及びモモである。他にも多くの宿主植物が報告されている。しかし、他の宿主植物のうち多くの種は、感染したとしても症状を示さないことがある (EPPO GDB, 2024a)。

ブドウの最も特徴的な症状は葉焼けである。初期は、緑色の葉の一部が突然枯れ、次第に茶色になり、葉全体が縮み、落葉する。茎の症状は、茶色と緑色の斑紋状となる。芽は発育不良となる。塩害や微量要素欠乏のような他の障害と混同される (Janse and Obradovic, 2010)。ブドウの症状は顕著であり、品種や樹齢によるが、感染後1～数年以内に枯死する。接ぎ木により感染したブドウは植えてから1年以内に枯死する (CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a)。

モモの症状は、若い芽の発育不良、頂点の叢（そう）生である。側枝は水平に成長し、落枝する。葉や花が早期に発生し、葉が健全樹に比べ長期間残る。症状が現れるまで長期間（感染後18か月又はそれ以上）を要することがある (Janse and Obradovic, 2010)。感染樹は、小果化、果実数減少により3～5年後までに経済的価値が完全に失われる (CABI, 2024)。

ミカン属における *Citrus variegated chlorosis* 症状は、ほとんどのスイートオレンジで発症するが、タヒチライム及びマンダリンオレンジでは観察されない。苗木では症状が現れるまでに9～12か月を要し、その間は無症状の潜伏期間となる。樹齢が7～10年以下の樹では葉に斑入りの萎黄症状が見られる。若い樹は症状が出るが、樹齢5年以上の樹は症状が現れ難い。葉が成長すると、小さな茶色の盛り上がった病変が裏面に、表面には萎黄症状が見られる。果実の小型化、高糖質、果皮の硬化などの影響がある (CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a)。

オリーブでは、自然界で感染した樹から採取した本細菌を健全樹に接種した試験において、1年以内に葉焼けや枝枯れの症状を示した報告がある (Carlucci et al., 2013; Krugner et al., 2010)。

コーヒーノキ属、カエデ属、クワ属、ニレ属、コナラ属、アメリカスズカケノキ、セイヨウキョウチクトウ及びペカンの症状は葉焼け、ツルニチニチソウの症状はわい化、イヌビエ、*Rubus discolor*、*Artemisia douglasiana* 等は無症状で感染する (CABI, 2024; Janse and Obradovic, 2010)。

5. 移動分散方法

(1) 自然分散

本細菌は、木部を吸汁加害する昆虫類により媒介され、接触や風媒による伝染は知られていない (CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a) ※。ヨコバイ科 (Cicadellidae)、アワフキムシ科 (Aphrophoridae) 及びセミ科 (Cicadidae) がベクターとして知られている。(EPPO GDB, 2024a)。

ベクターの飛翔距離は 100m と短い、風によって長距離移動することが知られている (EFSA, 2013)。本細菌は、ベクターによる野生宿主植物への伝搬により生存が維持される (CABI, 2024)。

※ 本細菌は木部局在細菌のため、カメムシ目の頸吻 (けいふん) 亜目に属する木部吸汁性昆虫のみが伝搬するとの報告がある (EFSA, 2015)。これら昆虫による本細菌の伝搬では、潜伏期間を必要とせず、永続的に伝搬される可能性が示唆されている (EFSA, 2015)。本細菌の取り込みは消化管に限定される (EFSA, 2015)。また、本細菌は前口孔又は口孔内に付着後、前口孔又は口孔内で増殖する (リンパ液内には循環せず、潜伏期間も必要ない)。このことから、ベクターの脱皮により伝搬性を失うことが示唆されている。これは、腸管が外胚葉由来で、脱皮の際に更新されるためと考えられている (EFSA, 2015)。このため、羽化した成虫が本細菌の伝搬能を有するには、感染植物を吸汁しなければならない可能性がある。成虫のベクターが一度感染すると、生存期間中に腸管で本細菌が増殖し、永続的に伝搬することができる可能性がある (EFSA, 2015)。なお、経卵伝染はしない (CABI, 2024)。

有翅成虫は、移動性があるため、本細菌の分散の原因となる。本細菌の保持は腸管に限定され、ベクター 1 頭当たりの細菌濃度は低いもののベクターの腸管内で生きている細菌数のごくわずかでも伝搬可能である。このことからベクターを対象とした本細菌の保毒調査には PCR 法のような感度の高い手法が必要となる (EFSA, 2015)。本細菌の伝搬は木部吸汁性昆虫に限定されており、すべての木部吸汁性昆虫がベクターとなる可能性があると考えられているが、昆虫の種、寄主植物及び本細菌の遺伝子型により伝搬性には差異があると考えられている (EFSA, 2015)。

一方、師部吸汁性昆虫は、潜在的ベクターと考えられていない (Comara et al, 2017a)。本細菌に感染しているオリーブ園の地上部から集められたホソアワフキ (*Philaenus spumarius*: 日本既発生) (木部吸汁性) 及び *Euscelis lineolatus* (オオヨコバイ科: 日本未発生) (師部吸汁性) を PCR 法により調査したところ、木部吸汁性昆虫のホソアワフキからは本細菌が確認できたが、師部吸汁性昆虫の *E. lineolatus* からは検出できなかったとの報告がある (Saponari et al., 2014b)。しかし、重度の感染が確認されているオリーブ園で採取された *E. lineolatus* の成虫の体内から、本細菌が検出されたとの報告がある (Elbeaino et al., 2014; EFSA, 2015)。師部吸汁性昆虫であっても、わずかに木部を吸汁する場合もあることが他の種で報告されているが、本細菌を伝搬することは証明されていないため、ベクターではないとの報告もある (Chauvel et al., 2015a, b; EFSA, 2015)。

(2) 人為分散

本細菌は、栽植用苗及び穂木の人為的移動により分散する (CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a)。

種子伝染については、スウィートオレンジにおいて、本細菌による citrus variegated chlorosis 症状を発症した果実から得られた種子を播 (は) 種し、育成した苗を調査した結果

本細菌が検出されたという報告 (Li et. al., 2003) がある一方、種子から実生苗への本細菌の伝染は生じないと報告もある (Coletta-Filho et al., 2014; Hartung et al., 2014)。

ペカンにおいて、本細菌感染樹由来の種子から発芽した実生苗から本細菌が検出されたとの報告があるが、ベクターが未成熟果 (殻の道管) を食害したことによる感染の可能性も示唆されており、本細菌の種子伝染については更なる研究が必要とされている (Cervantes, 2022; EPPO, 2022)。

果実に関しては、本細菌が感染したブドウから収穫した果実をベクターである *Graphocephala atropunctata* 及び *Draeculacephala minerva* に摂食させても、本細菌を獲得することはできないとの報告があり (Purcell and Saunders, 1995)、果実による伝染は知られていない。

6. 生態

(1) 中間宿主及びその必要性
情報なし。

(2) 伝染環
本細菌は、木部を吸汁加害する昆虫類により媒介され、接触や風媒による伝染は知られていない (CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a)。

(3) 植物残さ中での生存
情報なし。

(4) 耐久生存態
情報なし。

7. 媒介性又は被媒介性

アメリカ合衆国カリフォルニア州では、アワフキムシ科の *Aphrophora permutata* (日本未発生)、ヨコバイ科の *Homalodisca vitripennis* (= *H. coagulata*) (日本未発生)、*Cameocephala fulgida* (= *Xyphon fulgidum*) (日本未発生)、*Draeculacephala minerva* (日本未発生)、*Graphocephala atropunctata* (日本未発生) 等がピアス氏病 (Pierce's disease) の主要なベクターであり、ヨコバイ科の *Homalodisca vitripennis* (= *H. coagulata*) (日本未発生)、*H. insolita* (日本未発生)、*Oncometopia orbona* (日本未発生)、*G. versuta* (日本未発生) 及び *Cuerna costalis* (日本未発生) がモモに感染する系統のベクターとして知られている (CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a)。

ブラジルでは、ヨコバイ科の *Acrogonia terminalis* (日本未発生)、*A. citrina* (日本未発生)、*Dilobopterus costalimai* (日本未発生) 及び *Oncometopia facialis* (日本未発生) がミカン属における主要なベクターであるという報告もある (CABI, 2024; Coelho et al., 2008; IPPC, 2017; EPPO GDB, 2024a)。

また、日本既発生のホソアワフキが、欧州において本細菌のベクターとして報告されている (Comara et al., 2017b; EPPO GDB, 2024a; Saponari et al., 2016)。

発生国において木部を吸汁加害するヨコバイ科等の多数の種がベクターとなる又は潜在的なベクターとなる報告があるため (EPPO, 2024a)、日本に発生しているヨコバイ科等もベクターとなる潜在性を有すると考える。

8. 被害の程度

アメリカ合衆国、ブラジル等で本細菌による経済的損失が報告されている（CABI, 2024）。アメリカ合衆国における本細菌の発生地域であるメキシコ湾沿岸では、ヨーロッパブドウ（*Vitis vinifera*）及びアメリカブドウ（*V. labrusca*）は本細菌に感染しやすいため栽培できず、代わりに *Vitis rotundifolia* や抵抗性品種が利用されている報告がある。南米及びアメリカ合衆国カリフォルニア州の一部のブドウ生産地域でも同様の事例がある。このように、本細菌の発生地域では抵抗性品種を利用しなければ栽培ができない。本細菌の分散は、気候の影響を受けやすく、ベクターの発生状況に依存している可能性がある（CABI, 2024）。

モモでは、枯死させることはないが、小果化及び果実数減少の影響がある（CABI, 2024）。

ミカン属では、ブラジル南部やアルゼンチンの一部で被害の報告があり、2005年にはこれら感染地域の商業用果樹で44～63%が感染し、減産の原因となった（CABI, 2024）。

オリーブでは、2013年にイタリアのApulia地方において本細菌が流行し、ほ場で被害の発生が報告されている（EFSA, 2015）。2015年10月時点で、約100万本の樹に感染したと推定されている（CABI, 2024）。

他の宿主植物（コナラ属、カエデ属、クワ属、ニレ属等）では、成長期に葉枯れが見られるが、枯死や栽培ができないような被害は起きていない（CABI, 2024）。

9. 防除

健全な穂木の生産が本細菌に対する実用的な防除方法である。ベクターの防除は、分散を防ぐ有効な方法である。宿主植物に対する病原体自体への農薬散布等の化学的防除は野外では成功していない（CABI, 2024）。

10. 診断、検出及び同定

(1) 症状

症状は宿主植物や本細菌の系統により異なるが、葉焼け、葉面の退緑・褐色病斑、葉の萎ちようや奇形、枝枯れ、節間短縮、矮化や果実の縮小等がみられる（EPPO GDB, 2024a; CABI, 2024）。ブドウ、モモ、オリーブ、ミカン属植物等では症状の報告がある一方、感染し本細菌の増殖が進んでも無症状である宿主植物も多数ある（EPPO, 2023）。

(2) 検定

- ・ 生物検定：感受性植物への接ぎ木又は虫媒接種する（CABI, 2024）。
- ・ 血清学的診断法：ELISA法、蛍光抗体法、dot immunobinding assay（DIBA）法（CABI, 2024; EPPO, 2023）。ELISAキットが市販されている（Agdia, 2021; Loewe, 2023）。
- ・ 遺伝子診断法：DNA hybridization法、PCR法（CABI, 2024）が報告されており、Minsavage et al. (1994)の種特異的プライマーを使用したPCR法は、コナラ属、アルファルファ（*Medicago sativa*）、モモ、ミカン属、セイヨウキョウチクトウ、セイヨウスモモ、ブドウ及びアーモンドから検出が可能である（CABI, 2024; Minsavage et al., 1994）。亜種については、16S-23S rDNA ISR領域の塩基配列解析により識別できる（EFSA, 2013; Schaad, 2004; Hernandez-Martinez, 2007）。その他、リアルタイムPCR法やLAMP法による検出が報告されている（Harper et al., 2010; Li et al., 2013）。

なお、植物検疫措置に関する国際基準（以下「ISPM」という。）27 Annex 25 DP 25では、本細菌に感染した宿主植物の症状及び本細菌の分離、検定方法を記載した総合的な診断マ

ニュアルが策定されている (FAO, 2018)。

1 1. 日本における輸入検疫措置

本細菌は、植物防疫法施行規則（農林省, 1950）別表 1 に規定されている検疫有害植物であり、同施行規則別表 2 の 2 に規定されている国又は地域から輸入される宿主植物の生植物（種子及び果実を除く。）であって栽培の用に供するものについては、輸出国において展葉期に、ELISA 法等の適切な血清学的診断法又は PCR 法等の適切な遺伝子診断法による検定を行い、本細菌に感染していないことを確認し、その旨を検査証明書に追記することを要求している（農林水産省, 1998）。

1 2. 諸外国における輸入検疫措置

(1) 欧州連合 (European Union : EU) (EUR-Lex, 2020, 2021)

EU 域外で生産された本細菌の宿主植物について、以下の検疫措置を要求している。また、EU 域内では本細菌の発生地を設定し、防除及び移動規制を行っている。

ア 本細菌の発生が知られていない国又は無発生地域で生産された植物に対する要求事項

- ・ 国又は地域単位で本細菌の感染率が 1% 以下であることを 80% の信頼水準で確認できるサンプリング計画に基づき検査し、本細菌の無発生を検査証明書に追記すること。
- ・ 生産場所において年間の適切な時期に公的な検査が行われ、遺伝子診断法を用いた検定により本細菌の不在を確認していること。特に栽植用植物（種子を除く。）のアーモンド、オリーブ、キレハラベンダー、セイヨウキョウチクトウ、ポリガラ・ミルティフォリア及びコーヒーノキ属植物については、感染率が 1% 以下であることを 80% の信頼水準で確認できるサンプリング計画に基づき検査すること。

イ 本細菌の無発生生産用地で生産された植物に対する要求事項

- ・ 生産用地で年 2 回の公的検査による本細菌とベクターの不在確認及びベクターの防除対策を実施すること。
- ・ 無発生生産用地として公的に認定され、EU 当局に通知がなされた生産用地で生産すること。
- ・ 搬出前に遺伝子診断法により本細菌の発生率が 1% 以下であることを 90% の信頼水準で確認すること。
- ・ ベクターから保護された包装で輸送すること。

(2) 英国 (Legislation.gov.uk, 2021)

本細菌の宿主植物に対し、以下の検疫措置を要求している。

ア 本細菌の無発生の国又は無発生地域由来の宿主植物に対する要求事項

- ・ 輸出前の 3 年間（3 年生未満の植物については全生育期間）、本細菌無発生の国又は地域で生産すること。

イ 本細菌の無発生生産用地由来の宿主植物に対する要求事項

- ・ ISPM に沿って認定された本細菌の無発生生産用地で生産すること。
- ・ 生産用地及びその周辺 100m の範囲で本細菌とベクターについて、年 2 回の公的検査による本細菌とベクターの不在確認及びベクターの防除対策を実施すること。

と。

- ・ 輸出前に、国際的に検証された方法で本細菌の感染率が1%以下であることを99%の信頼水準で確認すること。
- ・ ベクターから保護されたこん包で輸送すること。

なお、インビトロ（無菌条件下）で栽培された植物、栽植用のオリーブ、ポリガラ・ミルティフォリア、マンネンロウ、コーヒーノキ属及びラウアンドウラ属については、本細菌を対象として別途検疫措置が定められている。

(3) オーストラリア (Australian Government, 2023)

緊急措置として以下の措置を要求している。

- ・ 本細菌のハイリスク国に指定された国からの対象種の組織培養植物について、当該植物の親植物が本細菌に感染していないことを室内検定で確認すること。輸出国での検定が実施されない場合、輸入後の12か月以上の隔離栽培の後、PCR法により検定を行う。
- ・ 本細菌のハイリスク国に指定された国からの対象種の栽植用植物について、ベクターを排除できる施設で当該植物とその親植物が生産され、本細菌に感染していないことを室内検定で確認すること等の条件を満たすこと。輸出国での措置が実施されない場合、輸入後の12か月以上の隔離栽培の後、PCR法による検定、あるいは50°C 45分間の温湯処理が必要。
- ・ 全ての国で生産された *Carya* 属栽植用種子に対し、*Xylella* 属細菌を対象として輸入後12か月以上の隔離検疫の実施。

なお、室内検定はPCR法とリアルタイムPCR法（信頼水準95%で感染率が0.5%以下であることを満たすサンプリング条件）の両方の実施を要求している。

(4) 大韓民国 (WTO, 2024)

本細菌の発生国として指定された国で生産されたブドウ属等指定された宿主植物の栽植用植物及び栽植用ペカン種子について、本細菌及びそのベクターを対象病害虫として輸入禁止としている。

(5) ニュージーランド (MPI, 2024)

本細菌の宿主植物の苗木（植物体全体、挿し木、球根）及び組織培養体について、以下のいずれかの検疫措置をとることを要求している。なお、本細菌の無発生国、又は第一次産業省（Ministry for Primary Industries : MPI）が承認した施設で生産した組織培養体を輸入する場合を除き輸入許可証が必要である。

- ・ MPIによって本細菌が無発生であることを承認された国で生産されており、その旨が検査証明書に追記されていること。
- ・ 本細菌の無発生の地域又は生産地で生産され、その旨が検査証明書に追記されており、輸入後、6か月以上の期間、指定診断施設で検査を受けること。
- ・ MPIが承認した生産施設で生産されていること。

(6) ユーラシア経済同盟 (Eurasian Economic Union : EAEU) (EAEU, 2022)

以下の検疫措置を要求している。

- ・ オリーブ、仁果類、核果類及び殻果類の栽植用植物について、本細菌の無発生の地域、生産地又は生産用地で生産されていること。

- ・ ブドウ属の栽植用植物について、本細菌の無発地域で生産されていること。
- ・ 熱帯及び亜熱帯植物の栽植用植物について、本細菌の無発の生産地又は生産地で生産されていること。

II 病害虫リスクアナリシスの結果

第1 開始（ステージ1）

1. 開始

Xylella fastidiosa に対するリスク評価を行い、現行の検疫措置の有効性を評価するため、病害虫リスクアナリシスを実施する。

2. 対象となる有害動植物

Xylella fastidiosa を対象とする。

3. 対象となる経路

リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報の「2. 地理的分布」に示す「国又は地域」からの「3. 宿主植物及び日本国内での分布」に示す「宿主植物」であって、「4. 感染部位及びその症状」に示す「感染部位」を含む植物を対象とする。

4. 対象となる地域

日本全域を対象とする。

5. 開始の結論

本細菌を開始点とし、その発生地域から輸入される植物を経路とした日本全域を対象とする病害虫リスクアナリシスを開始する。

第2 病虫害リスク評価（ステージ2）

1. 有害動植物の類別

ステージ1で特定された有害動植物について、国内における発生及び公的防除の有無、定着及びまん延の潜在性並びに経済的影響を及ぼす潜在性について調査し、検疫有害動植物となる潜在性を有するかを検討する。なお、以下の（1）～（3）の評価項目の判断基準を満たしていない場合は、それが判明した時点で評価を中止できるものとする。

（1）有害動植物の国内での発生の有無及び公的防除の有無等

Xylella fastidiosa は国内未発生である。

（2）定着及びまん延の潜在性

本細菌の宿主植物であるブドウは 47 都道府県で栽培されていることから、もし本細菌が国内に入り込んだ場合、定着及びまん延するおそれがある。

（3）経済的影響を及ぼす潜在性

本細菌の感染により、宿主植物の根、茎及び葉脈内の木部道管内で本細菌が増殖・凝集、チロースや粘着物の形成により道管を詰まらせ、葉焼けや枝枯れ、芽の発育不良等を引き起こす。感染後1～数年以内に枯死へ至る場合もある。アメリカ合衆国における本細菌の発生地域では、ヨーロッパブドウやアメリカブドウは本細菌に感染しやすいため栽培できず、代わりに抵抗性品種等へ切り替える等の影響が出ている。また、ブラジルの発生地域のミカン属での商業用果樹で減産に至っている。

したがって、もし本細菌が国内に入り込み、定着及びまん延した場合、経済的影響を及ぼすおそれがある。

（4）評価にあたっての不確実性

特になし。

（5）有害動植物の類別の結論

本細菌は国内未発生であるが、本細菌の宿主植物であるブドウは国内で広く栽培され、本細菌は木部を吸汁加害する昆虫類がベクターとなり伝搬するが、発生国でベクターとなることが知られている種が国内に発生しており、また、感染した穂木を介しても伝搬するため、本細菌が国内に入り込んだ場合、定着及びまん延するおそれがある。本細菌は、発生国において被害報告があることから、国内においても経済的影響を及ぼすことは否定できない。

したがって、本細菌は検疫有害動植物となる潜在性を有することから、引き続き「2. 農業生産等への影響の評価」で評価を行う。

2. 農業生産等への影響の評価

（1）定着の可能性の評価

ア リスクアナリシスを実施する地域における潜在的検疫有害動植物の生存の可能性

（ア）潜在的検疫有害動植物の生存の可能性

本細菌の感染部位は周年で存在することから、不良環境下でも生存可能と考える。

（イ）リスクアナリシスを実施する地域における中間宿主の利用可能性

本細菌は、中間宿主が必須との情報は得られていない。

（ウ）潜在的検疫有害動植物の繁殖戦略

本細菌は有害植物であるため、評価基準に基づき5点と評価した。

イ リスクアナリシスを実施する地域における寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性

(ア) 寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性

本細菌の主要な宿主植物であるブドウは、47都道府県で生産されている。ミカン属は東北以南に分布している。サクラ属は街路樹、自生木を含めて全国に分布している。コナラ属は、沖縄県以外の全国に自生していることから、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 潜在的検疫有害動植物の寄主又は宿主範囲の広さ

本細菌が宿主とする植物の科は、ブドウ科、アカザ科、イネ科を含む数十科が知られている。

(ウ) 有害動植物の侵入歴

本細菌は、東洋区、旧北区、新北区及び新熱帯区の4区に分布する。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

ウ 定着の可能性の評価結果

評価した項目の評価点の平均から、定着の可能性の評価点は5点満点中の4.7点（小数第二位を四捨五入）となった。

(2) まん延の可能性の評価

ア 自然分散（自然条件における潜在的検疫有害動植物の分散）

(ア) ベクター以外による伝染

a 移動距離

本細菌は、ベクター以外による伝染は知られていない。よって、本項目は評価しない。

b 伝染環数

本細菌は、ベクター以外による伝染は知られていない。よって、本項目は評価しない。

(イ) ベクターによる伝搬

a ベクターの移動距離

本細菌は、ヨコバイ等（日本既発生の種を含む）のベクターによる分散が知られている。ベクターによる飛翔距離は100mまでであるが、風によって長距離移動をすることができる。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

b 伝搬様式

本細菌は、ベクターの口器に付着し、吸汁加害する際に直接伝染する。また、ベクターの体内で増殖し、成虫では永続的に伝搬されることが知られている。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

イ 人為分散

(ア) 農作物を介した分散

本細菌の主要な宿主植物であるブドウは、47都道府県で栽培されている。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 非農作物を介した分散

本細菌は非農作物を介した分散は知られていない。よって、本項目は評価しない。

ウ まん延の可能性の評価結果

評価した項目の評価点の平均から、まん延の可能性の評価点は5点満点中の5点となった。

(3) 経済的重要性の評価

ア 直接的影響

(ア) 影響を受ける農作物又は森林資源

本細菌の宿主植物であるナシ、ブドウ、ミカン、モモ等の農産物算出額は6,655.4億円である。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

(イ) 生産への影響

本細菌に感染したブドウ(永年作物)は、品種や樹齢によるが1～数年以内に枯死する。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(ウ) 防除の困難さ

本細菌に対しての実用的な防除方法は、健全な穂木の生産である(一度ほ場に侵入すると防除は困難)。

(エ) 直接的影響の評価結果

上記(ア)及び(イ)の評価点の積は20点となり、評価基準に基づき直接的影響の評価点は4点となった。

イ 間接的影響

(ア) 農作物の政策上の重要性

本細菌の宿主植物であるナシ、ブドウ、ミカン及びモモは「農業保険法」及び「同法施行令」並びに「果樹農業振興特別措置法施行令」で定める農作物である。よって、評価基準に基づき1点と評価した。

(イ) 輸出への影響

大韓民国は、本細菌の発生国で生産された栽植用ブドウ属植物等の輸入を禁止している。よって、評価基準に基づき1点と評価した。

ウ 経済的重要性の評価結果

直接的影響の評価点と間接的影響の評価点の和から、経済的重要性の評価点は5点満点中の5点となった。

(4) 評価における不確実性

特になし。

(5) 農業生産等への影響評価の結論(病害虫固有のリスク)

定着及びまん延の可能性並びに経済的重要性の3項目の評価点の積は116.7点となり、本細菌の農業生産等への影響の評価を「高い」と結論付けた。

3. 入り込みの可能性の評価

項目	評価における判断の根拠等
(1) 感染部位	植物全体(果実及び種子を除く。)

(2) 国内に入り込む可能性のある経路	<p>経路は〔栽植用植物〕、〔栽植用球根類〕及び〔消費用生植物〕と考えられる。</p> <p>〔栽植用種子〕については、スウィートオレンジで種子伝染が起こったという報告及び種子から実生への本細菌の伝染は生じないとの報告がある。ペカンで種子から実生への伝染が生じたとの報告があるが、ベクターが未成熟果（殻の道管）を食害したことによる感染である可能性が示唆されている。その他の宿主植物については種子伝染に関する情報は確認できなかった。これらのことから、〔栽植用種子〕については経路から除外した。なお、欧州食品安全機関（EFSA）も入り込みの可能性のある経路から栽植用種子を除外している。</p> <p>〔消費用生植物〕のうち、果実については、果実からの感染事例が知られていないため、経路から除外した。</p>		
	用途	部位	経路となる可能性
	ア 栽植用植物	葉、枝、幹（茎）、根	○
	イ 栽植用球根類	球根	○
	ウ 消費用生植物	葉、枝、幹（茎）、根	○
(3) 宿主植物の輸入検査量	別紙3参照		

※本来の用途ではない目的に利用されることが想定される場合は、その想定される用途の評価結果を適用する（例えば、消費用途の植物が栽培用として利用される場合など）。

(4) 入り込みの可能性の評価

ア 栽植用植物及びイ 栽植用球根類

(ア) 輸送中の生き残りの可能性（加工処理に耐えて生き残る可能性）

栽植用植物及び栽植用球根類は、原産地で有害植物の生存に影響を与えるような加工処理は実施されていないことから、本細菌が通常輸送中問題なく生き残る可能性が高い。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ

本細菌は有害植物であり、無症状で感染している場合がある。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性

栽植用植物及び栽植用球根類は、直接栽培施設、ほ場等へ持ち込まれる。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性

栽植用植物及び栽植用球根類は、栽植用として利用されることで入り込みが完了する。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(オ) 評価における不確実性

特になし。

栽植用植物及び栽植用球根類の入り込みの可能性の評価の結論

評価を行った項目の評価点の平均値は5点であり、本細菌の栽植用植物及び栽植用球根類を経路とした場合の入り込みの可能性の評価を「高い」と結論付けた。

ウ 消費用生植物

(ア) 輸送中の生き残りの可能性（加工処理に耐えて生き残る可能性）

原産地で本細菌の生存率に影響を与える加工処理等は実施されていない。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ

本細菌は有害植物であり、無症状で感染している場合がある。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性

本細菌の宿主植物であるブドウ属は47都府県で植栽又は商業的に栽培されているため、人口比は1.000となる。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性

本細菌に感染した宿主植物が輸入された場合、当該植物から国内に存在する宿主植物への自然分散の方法はベクターであるホソアワフキ（国内既発生）による分散が考えられるが、消費用生植物は通常栽培地ではなく消費地へ運ばれ当該ベクターによって自然分散する機会は低いため、本細菌が消費用植物から自然分散する可能性は無視できる。よって、評価基準に基づき「評価中止」となる。

(オ) 評価における不確実性

特になし。

消費用生植物の入り込みの可能性の評価の結論

本細菌の消費用生植物を経路とした場合の入り込みの可能性の評価を「無視できる」と結論付けた。

4. *Xylella fastidiosa* の病害虫リスク評価の結論

本細菌は検疫有害植物であり、栽植用植物、栽植用球根類及び消費用生植物を経路として入り込む可能性があるとして評価した。

農業生産等への影響評価の結論 (病害虫固有のリスク)	入り込みの可能性の評価		病害虫リスク評価の結論
	用途	結論	
高い	ア 栽植用植物	高い	高い
	イ 栽植用球根類	高い	高い
	ウ 消費用生植物	無視できる	無視できる

第3 病害虫リスク管理（ステージ3）

病害虫リスク評価の結果、*Xylella fastidiosa* はリスク管理措置が必要な検疫有害植物であると判断されたことから、ステージ3において、発生国からの宿主植物の輸入に伴う本細菌の入り込みのリスクを低減するための適切な管理措置について検討する。

1. *Xylella fastidiosa* に対するリスク管理措置の選択肢の検討

選択肢	方法	有効性及び実行可能性の検討	実施主体 (時期)	有効性	実行 可能性
① 病害虫無発生地域、生産地又は生産用地の設定及び維持	ISPM 4 (FAO, 2024) 又は 10 (FAO, 2016) の規定に基づき設定及び維持する。	〔有効性〕 ●ISPMに基づき輸出国植物防疫機関が設定、管理及び維持する病害虫無発生地域、生産地又は生産用地であって、ベクターの管理ができれば有効である。 〔実行可能性〕 ●輸出国において適切に管理されること（ベクターの管理を含む。）が必要であるが、実行可能と考えられる。	輸出国 (輸出前)	○	○
② システムズアプローチ	ISPM 14 (FAO, 2019a) に基づき実施する。	複数の管理措置の組み合わせであるシステムズアプローチの有効性及び実行可能性については、具体的に提案される管理措置の内容を検討する必要がある。	輸出国 (輸出前)	—	—
③ 栽培地検査	栽培期間中に生育場所において植物の症状等を観察する。	〔有効性〕 ●栽培期間中に症状を明瞭に現す場合は有効である。 ●主にブドウ、ミカン属及びモモに被害が発生しており、栽培期間中に植物の葉焼け、発育不良、葉の萎黄症状等の症状を現す。 ●しかし、系統によっては特定の宿主植物に症状を現さない場合や、症状を現す場合でも長期間を要する場合があるため、栽培期間中の検査の効果は限定的であ	輸出国 (栽培中)	▽	○

		<p>る。</p> <p>〔実行可能性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●輸出国においてベクターの適切な防除が実施されるとともに、適切な検査が行われる必要があるが、実行可能と考えられる。 			
④精密検定	血清学的診断法、遺伝子診断法等による精密検定を実施する。	<p>〔有効性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ELISA 法等の市販されている抗血清の利用により容易に検定が可能である。 ●PCR 法により精度の高い検出が可能である。 ●なお、系統によっては、特定の宿主植物に症状を示さない場合や無症状の宿主植物が報告されているが、展葉期に無症状の植物体を含め無作為にサンプリングを行うことにより本細菌の検出が可能である。 ●しかし、輸入時の精密検定については、本細菌が最初に感染するのが新葉であるとの報告があることから、輸入時に展葉していない宿主植物の検定効果は限定的である。 <p>〔実行可能性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●輸出入国において検定施設を有するとともに、ELISA キット、特異的なプライマー及びポジティブコントロールが必要であるが、実行可能と考えられる。 	<p>輸出国 (輸出前)</p> <p>輸入国 (輸入時)</p>	○	○
⑤検査証明書への追記	輸出国での目視検査の結果、本細菌に感染していないことを確認し、その旨を検査	<p>〔有効性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主にブドウ、ミカン属及びモモに被害が発生しており、葉焼け、発育不良、葉の萎黄症状等の症状を現すことから有効である。 ●しかし、系統によっては特 	輸出国 (輸出時)	▽	○

	<p>証明書に追記する。</p>	<p>定の宿主植物に症状を現さない場合や、症状を現す場合でも長期間を要する場合があることから、効果は限定的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本細菌のベクターであるヨコバイ科、アワフキムシ科及びセミ科の害虫類の幼虫や成虫（卵は経路とならない。）については、宿主植物に付着している可能性があるが、目視で確認できる。 <p>[実行可能性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●輸出国において適切な検査が行われることが必要であるが、実行可能と考えられる。 			
⑥輸出入検査（目視検査）	<p>植物の症状等を確認する。</p>	<p>[有効性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主にブドウ、ミカン属及びモモに被害が発生しており、葉焼け、発育不良、葉の萎黄症状等の症状を現すことから有効である。 ●しかし、系統によっては特定の宿主植物に症状を現さない場合や、症状を現す場合でも長期間を要する場合があることから、効果は限定的である。 ●本細菌のベクターであるヨコバイ科、アワフキムシ科及びセミ科の害虫類の幼虫や成虫（卵は経路とならない。）については、宿主植物に付着している可能性があるが、目視で確認できる。 <p>[実行可能性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●輸出入国において通常実施されている検査であり、実行可能である。 	<p>輸出国（輸出時）</p> <p>輸入国（輸入時）</p>	<p>▽</p> <p>▽</p>	<p>○</p> <p>○</p>
⑦隔離栽培中の検査	<p>輸入後、国内の施設にお</p>	<p>[有効性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●症状発現まで時間を要する 	<p>輸入国</p>	<p>○</p>	<p>▽</p>

	<p>いて一定期間栽培し、生物検定や精密検定を実施する。</p>	<p>場合でも、栽培施設で適切に管理（ベクターの管理を含む。）することにより、検査が可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●隔離期間中に症状を診断し、精密検定等により検出が可能である。 <p>〔実行可能性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多年生植物は、隔離栽培中の検査が実行可能であるが、隔離栽培ができる施設に限られており、検査できる数量等が制限される。そのため、隔離栽培運用基準（農林省, 1968）に規定されていない宿主植物を新たに隔離栽培する場合は、隔離施設の設備及び栽培管理のための条件を整える必要があることから、限定条件下で実行可能である。 ●カラタチ属、キイチゴ属、キンカン属、サクラ属、ナシ属、ブドウ属及びミカン属の栽植用植物は、同運用基準で対象としているため、実行可能である。 	<p>(輸入後)</p>	<p>(カラタチ属、キイチゴ属、キンカン属、サクラ属、ナシ属、ブドウ属及びミカン属の栽植用植物○)</p>
--	----------------------------------	---	--------------	---

- 有効性 ○：効果が高い
▽：限定条件下で効果がある
×：効果なし
－：検討しない
- 実行可能性 ○：実行可能
▽：限定条件下で実行可能
×：実行困難
－：検討しない

2. 経路ごとの *Xylella fastidiosa* に対するリスク管理措置の選択肢の特定

(1) 栽植用植物及び栽植用球根類

ア 検討結果

病害虫無発生の地域、生産地又は生産用地の設定及び維持（選択肢①）は、本細菌の入り込みのリスクに対しては有効な管理措置である。しかしながら、本細菌のベクターであるヨコバイ科、アワフキムシ科及びセミ科に対する管理が必要である。また、病害虫無発生地域等の設定及び維持は、宿主植物の栽培環境、病害虫管理等を含む各種要因に影響を受けるた

め、個別案件ごとに具体的な内容を輸出国植物防疫機関が示し、日本がその許諾を判断する必要がある。

精密検定（選択肢④）は、本細菌を特異的に検出する PCR 法等が報告されている。また、ELISA 法等の血清学的診断法により、植物体から特異的に本細菌を検出可能であり、ELISA キットも市販されていることから、有効かつ実行可能な管理措置である。しかし、輸入時の精密検定については、本細菌が最初に感染するのが新葉であるとの報告があることから、輸入時に展葉していない宿主植物の検定効果は限定的である。したがって、輸出前の精密検定が有効かつ実行可能な管理措置であると考えられる。

イ リスク管理措置の特定

栽植用植物及び栽植用球根類に対する管理措置として、本細菌の入り込みのリスクを低減させることが可能であり、かつ必要以上に貿易制限的でないことを考慮し、以下の選択肢を特定した。

- 輸出国（輸出前）において、荷口全体（同一の荷口単位）の植物を対象に輸入植物検疫規程（農林省, 1950b）別表第 1 の 6 項 2 号の規定に基づく検査相当量について、展葉期に目視検査及び ELISA 法等の適切な血清学的診断法又は PCR 法等の適切な遺伝子診断法による検定を行い、本細菌に感染していないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。

輸入植物検疫規程（農林省, 1950b）別表第 1 の 6 項 2 号

検査荷口の大きさ		検査する数量
1,000 本未満		30%以上
1,000 本以上	1,841 本未満	300 本以上
1,841 本以上	4,601 本未満	400 本以上
4,601 本以上	9,201 本未満	500 本以上
9,201 本以上	24,001 本未満	600 本以上
24,001 本以上		800 本以上

Xylella fastidiosa の発生国等の根拠

国又は地域	ステータス	根拠文献	備考
アジア			
台湾	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
中東			
イスラエル	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
イラン	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
欧州			
イタリア	発生	CABI, 2024; Carlucci et al., 2013; EPPO GDB, 2024a; Giampetruzzi et al., 2017	
スペイン	発生	CABI, 2024; EFSA, 2018; EPPO GDB, 2024a; XF-ACTORS, 2018	
スペイン (バレアレス諸島)	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
フランス	発生	CABI, 2024; EFSA, 2015, 2018; EPPO GDB, 2024a	
フランス (コルシカ島)	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
ポルトガル	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
北米			
アメリカ合衆国	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
カナダ	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
中南米			
アルゼンチン	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
エクアドル	発生	EFSA, 2015; EPPO GDB 2024c; Legendre et al., 2014	
コスタリカ	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
パラグアイ	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
ブラジル	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
ベネズエラ	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	
メキシコ	発生	CABI, 2024; EPPO GDB, 2024a	

Xylella fastidiosa の宿主植物の根拠

科名	学名	シノニム	和名		英名	根拠文献	備考
			属名	種名			
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus</i> sp.		フヨウ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus fragilis</i>		フヨウ属			EFSA, 2020	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus rosa-sinensis</i>		フヨウ属	ブツソウゲ		EFSA, 2020	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus schizopetalus</i>		フヨウ属	フウリンブツソウゲ		EFSA, 2016, 2020; CABI, 2024	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus syriacus</i>		フヨウ属	ムクゲ		EFSA, 2015, 2016	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Lavatera cretica</i>	<i>Malva multiflora</i>	ハナアオイ属	ラヴァテラ・クレティカ		EFSA, 2022	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Malva parviflora</i>		ゼニアオイ属	マルウァ・パルウィフロラ	cheeseweed	CABI, 2024; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Modiola caroliniana</i>		モディオラ属	モディオラ・カロリニアナ		EFSA, 2016, 2020	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Sida rhombifolia</i>		キンゴジカ属	キンゴジカ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Atriplex</i> sp.		ハマアカザ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	

アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Chenopodium murale</i>	<i>Chenopodium murale</i>	ウスバアカザ属	ミナトアカザ		Costello et al., 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Chenopodium album</i>		アカザ属	シロザ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Dysphania ambrosioides</i>	<i>Chenopodium ambrosioides</i>	アリタソウ属	アリタソウ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Salsola tragus</i>	<i>S. kali</i> subsp. <i>tragus</i>	オカヒジキ属	サルソラ・ツラグス	common saltwort	CABI, 2024; Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea</i>		コーヒーノキ属			CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i>		コーヒーノキ属	アラビアコーヒー	arabica coffee	CABI, 2024; EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i> × <i>Coffea canephora</i>		コーヒーノキ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i> × <i>Coffea eugenioides</i>		コーヒーノキ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i> × <i>Coffea liberica</i> var. <i>dewevrei</i>		コーヒーノキ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i> × <i>Coffea racemosa</i>		コーヒーノキ属			EFSA, 2023b	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea canephora</i>		コーヒーノキ属		robusta coffee	EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea eugenioides</i>		コーヒーノキ属			EFSA, 2020	

アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea kapakata</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea liberica</i>		コーヒーノ キ属	リベリアコ ーヒー	Liberian coffee	EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea liberica var. dewevrei</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2023a	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea racemosa</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea stenophylla</i>		コーヒーノ キ属	コフェア・ ステノフィ ラ		EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coprosma baueri</i>		コプロスマ 属			EFSA, 2016, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coprosma repens</i>		コプロスマ 属	コプロス マ・レペン ス		Costa et al., 2004; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Groenteman et al., 2015	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coprosma robusta</i>		コプロスマ 属	コプロス マ・ロブス タ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Richardia sp.</i>		ハシカグサ モドキ属			EFSA, 2020	

アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Richardia brasiliensis</i>		ハシカグサ モドキ属	リカルディア ア・ブラジ リエンス		CABI, 2024; EFSA, 2016	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Spermacoce latifolia</i>	<i>Borreria latifolia</i>	スペルマコ セ属	スペルマコ セ・ラティ フォリア	broadleaf buttonweed	EFSA, 2016, 2020	
アカバナ科 (Onagraceae)	<i>Fuchsia magellanica</i>		フクシア属	フクシア・ マゲラニカ		EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
アカバナ科 (Onagraceae)	<i>Ludwigia grandiflora</i>		チョウジタ デ属	ルドヴィギ ア・グラン ディフロラ	water primrose	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Brassica</i> sp.		アブラナ属			CABI, 2024; Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Brassica nigra</i>		アブラナ属	クロガラシ		EFSA, 2016, 2020	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Capsella bursa- pastoris</i>		ナズナ属	ナズナ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Erysimum</i>		エリシムム 属			EPPO GDB, 2024b	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Erysimum hybrids</i>		エリシムム 属			EFSA, 2020	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Lepidium auriculatum</i>		マメグンバ イナズナ属			De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	

アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Lepidium didymum</i>	<i>Coronopus didymus</i>	マメグンバ イナズナ属 (コロノプ ス属)	カラクサナ ズナ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Lepidium ruderale</i>		マメグンバ イナズナ属			EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Raphanus sativus</i>		ダイコン属	ダイコン	radish	EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Sisymbrium irio</i>		シシンブリ ウム属	シシンブリ ウム・イリ オ	London rocket	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
アリノトウグサ科 (Haloragaceae)	<i>Haloragis erecta</i>		アリノトウ グサ属	ハロラギ ス・エレク タ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
イチョウ科 (Ginkgoaceae)	<i>Ginkgo biloba</i>		イチョウ属	イチョウ	maidenhair tree	CABI, 2024; EFSA, 2020; Harris et al., 2014	
イネ科(Gramineae)	<i>Agrostis gigantea</i>		コヌカグサ 属	コヌカグサ	black bent	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Avena fatua</i>		カラスムギ 属	カラスムギ	wild oat	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Axonopus compressus</i>		ツルメヒシ バ属	ツルメヒシ バ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	

イネ科(Gramineae)	<i>Brachiaria decumbens</i>	<i>Urochloa decumbens</i> , <i>U. eminii</i>	ニクキビ属 (ウロクロア属)			CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
イネ科(Gramineae)	<i>Brachiaria plantaginea</i>	<i>Urochloa plantaginea</i>	ニクキビ属 (ウロクロア属)			CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; Leite et al., 1997	
イネ科(Gramineae)	<i>Bromus</i> sp.		スズメノチャヒキ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Bromus diandrus</i>	<i>Anisantha diandra</i>	スズメノチャヒキ属 (アニサンサ属)	ヒゲナガスズメノチャヒキ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Bromus rigidus</i>	<i>Anisantha rigida</i>	スズメノチャヒキ属 (アニサンサ属)			EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Cenchrus echinatus</i>		クリノイガ属	シンクリノイガ	southern sandbur	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Chloris halophila</i>		オヒゲシバ属	クロリス・ハロフィラ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Coelorachis cylindrica</i>		セロラキス属	コエロラキス・キリンドリカ		EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Cortaderia selloana</i>	<i>C. argentea</i>	シロガネヨシ属	シロガネヨシ		EFSA, 2023a	
イネ科(Gramineae)	<i>Cynodon</i>		ギョウギシバ属			CABI, 2024	

イネ科(Gramineae)	<i>Cynodon dactylon</i>		ギョウギシ バ属	ギョウギシ バ	Bermuda grass	CABI, 2024; Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Freitag, 1951; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Digitaria</i> sp.		メヒシバ属			CABI, 2024; De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; Leite et al., 1997;	
イネ科(Gramineae)	<i>Digitaria horizontalis</i>		メヒシバ属	ディギタリ ア・ホリゾ ンタリス		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Digitaria insularis</i>		メヒシバ属	ディギタリ ア・インス ラリス		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Digitaria sanguinalis</i>		メヒシバ属	ディギタリ ア・サング イナリス		EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Echinochloa crus-galli</i>		ヒエ属	イヌビエ	barnyard grass	CABI, 2024; Costello et al., 2017; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Eleusine indica</i>		オヒシバ属	オヒシバ		EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Eriochloa contracta</i>		ナルコビエ 属	アメリカノ キビ	prairie cupgrass	CABI, 2024; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	

イネ科(Gramineae)	<i>Hordeum murinum</i>		オオムギ属	ムギクサ	mouse barley	CABI, 2024; Costello et al., 2017; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Lolium multiflorum</i>		ドクムギ属	ネズミムギ	Italian rye grass	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Leite et al., 1997	
イネ科(Gramineae)	<i>Lolium perenne</i>		ドクムギ属	ホソムギ	perennial rye grass	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Panicum acuminatum</i>		キビ属	ニコゲヌカ キビ		EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Panicum maximum</i>	<i>Megathyrsus maximus</i>	キビ属 (メ ガシルスス 属)	ギネアキビ	Guinea grass	CABI, 2024	
イネ科(Gramineae)	<i>Paspalum</i>		スズメノヒ エ属			CABI, 2024	
イネ科(Gramineae)	<i>Paspalum dilatatum</i>		スズメノヒ エ属	シマスズメ ノヒエ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
イネ科(Gramineae)	<i>Paspalum regnellii</i>		スズメノヒ エ属			De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Paspalum urvillei</i>		スズメノヒ エ属	タチスズメ ノヒエ		EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
イネ科(Gramineae)	<i>Pennisetum clandestinum</i>		チカラシバ 属			EFSA, 2015, 2016, 2020; Leite et al., 1997	
イネ科(Gramineae)	<i>Pennisetum glaucum</i>	<i>P. americanum</i>	チカラシバ 属	トウジンビ エ	pearl millet	EFSA, 2020	

イネ科(Gramineae)	<i>Phalaris angusta</i>		クサヨシ属	ファラリス・アングスタ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Poa annua</i>		イチゴツナギ属	スズメノカタビラ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Setaria magna</i>		エノコログサ属	セタリア・マグナ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
イネ科(Gramineae)	<i>Sorghum halepense</i>		モロコシ属	セイバンモロコシ	Johnson grass	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
イノモトソウ科 (Pteridaceae)	<i>Pteridium aquilinum</i>		ワラビ属	プテリディウム・アケイリヌム	bracken	EFSA, 2022	
イラクサ科 (Urticaceae)	<i>Urtica dioica</i> subsp. <i>gracilis</i>		イラクサ属			EFSA, 2023b	追加
イラクサ科 (Urticaceae)	<i>Urtica urens</i>		イラクサ属	ヒメイラクサ	annual nettle	CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
イワタバコ科 (Gesneriaceae)	<i>Streptocarpus</i>		ストレプトカルパス属			EPPO GDB, 2024b	
イワタバコ科 (Gesneriaceae)	<i>Streptocarpus hybrids</i>		ストレプトカルパス属			EFSA, 2020	
ウコギ科(Araliaceae)	<i>Fatsia japonica</i>		ヤツデ属	ヤツデ		EFSA, 2020	
ウコギ科(Araliaceae)	<i>Hedera helix</i>		キヅタ属	セイヨウキヅタ	English ivy	CABI, 2024; Costa et al., 2004; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	

ウコギ科(Araliaceae)	<i>Meryta sinclairii</i>		メリタ属	メリタ・シンクライリ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ウリ科 (Cucurbitaceae)	<i>Diplocyclos palmatus</i>	<i>Bryonopsis laciniosa</i>	オキナワズメウリ属	オキナワズメウリ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Su et al., 2013	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Pistacia vera</i>		トネリバハゼノキ属	ピスタシオノキ	pistachio	CABI, 2024; Costa et al.,2004; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Rhus</i> sp.		ウルシ属			EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Rhus diversiloba</i>		ウルシ属	ルス・ディベルシロバ		EFSA, 2016, 2020	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Schinus molle</i>		コショウボク属	コショウボク	Peruvian pepper	CABI, 2024; Costa et al.,2004; EFSA, 2015, 2016	
オオバコ科 (Plantaginaceae)	<i>Plantago lanceolata</i>		オオバコ属	ヘラオオバコ	ribwort plantain	CABI, 2024; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
オオバコ科 (Plantaginaceae)	<i>Plantago major</i>		オオバコ属	オニオオバコ		EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
オシダ科 (Aspidiaceae)	<i>Athyrium filix-femina</i>		メシダ属	セイヨウメシダ		EFSA,2022	
オシロイバナ科 (Nyctaginaceae)	<i>Boerhavia diffusa</i>		ナハカノコソウ属	ナハカノコソウ		EFSA, 2020	

オトギリソウ科 (Guttiferae)	<i>Hypericum androsaemum</i>		オトギリソウ属	ヒペリクム・アンドロサエムム		EFSA, 2023a	
オトギリソウ科 (Guttiferae)	<i>Hypericum perforatum</i>	<i>H. officinale</i>	オトギリソウ属	ヒペリクム・ペルフォラツム		EFSA,2022; EPPO GDB, 2024b	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer</i>		カエデ属	カエデ属		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer granatense</i>		カエデ属			EFSA, 2023c	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer griseum</i>		カエデ属			EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer macrophyllum</i>		カエデ属	ヒロハカエデ	big leaf maple	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Janse and Obradovic, 2010	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer negundo</i>		カエデ属	トネリコバノカエデ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer platanoides</i>		カエデ属	ヨーロッパカエデ	Norway maple	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Harris et al., 2014	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer pseudoplatanus</i>		カエデ属	セイヨウカジカエデ	sycamore	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer rubrum</i>		カエデ属	ベニカエデ	red maple	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Nunney et al., 2013	

カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer saccharum</i>		カエデ属	サトウカエ デ	sugar maple	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
カキノキ科 (Ebenaceae)	<i>Diospyros kaki</i>		カキ属	カキ	persimmon	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
カバノキ科 (Betulaceae)	<i>Alnus rhombifolia</i>		ハンノキ属	アルヌス・ ロンビフォ リア	white alder	EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
カヤツリグサ科 (Cyperaceae)	<i>Carex</i> sp.		スゲ属			CABI, 2024; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
カヤツリグサ科 (Cyperaceae)	<i>Cyperus</i> sp.		カヤツリグ サ属			CABI, 2024; Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
カヤツリグサ科 (Cyperaceae)	<i>Cyperus eragrostis</i>		カヤツリグ サ属	メリケンガ ヤツリ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia</i> sp.		ブタクサ属			EFSA, 2023b	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>	<i>A. artemisiifolia</i> var. <i>elatior</i>	ブタクサ属	ブタクサ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia psilostachya</i>		ブタクサ属	アンブロシ ア・プシロ スタキア		EFSA, 2018, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia trifida</i>		ブタクサ属	アンブロシ ア・トリフ ィダ		EFSA, 2016, 2018, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia trifida</i> var. <i>texana</i>		ブタクサ属			EFSA, 2020	

キク科(Compositae)	<i>Argyranthemum frutescens</i>	<i>Chrysanthemum frutescens</i>	アルギランテムム属	マーガレット	marguerite	EFSA, 2022; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Artemisia</i> sp.		ヨモギ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Artemisia absinthium</i>		ヨモギ属	ニガヨモギ		EFSA, 2023a	
キク科(Compositae)	<i>Artemisia arborescens</i>		ヨモギ属	アルテミシア・アルボレスケンス		DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; FAO, 2019b	
キク科(Compositae)	<i>Artemisia douglasiana</i>		ヨモギ属	アルテミシア・ダグラスアナ		EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951; Janse and Obradovic, 2010; Nunney et al., 2013	
キク科(Compositae)	<i>Baccharis</i>		バッカリス属			EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Baccharis halimifolia</i>		バッカリス属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
キク科(Compositae)	<i>Baccharis pilularis</i>		バッカリス属			CABI, 2024; Costa et al., 2004; EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
キク科(Compositae)	<i>Baccharis salicifolia</i>		バッカリス属			EFSA, 2015, 2020	

キク科(Compositae)	<i>Bidens pilosa</i>		センダング サ属	コセンダン グサ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Brachyglottis</i> sp.		ブラキグロ ッティス属			EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
キク科(Compositae)	<i>Calocephalus brownii</i>		カロケファ ルス属	カロケファ ルス・ブラ ウニー		EFSA, 2023a	
キク科(Compositae)	<i>Calyptocarpus biaristatus</i>	<i>Blainvillea biaristata</i>	カリプトカ ルプス属	カリプトカ ルプス・ビ アリスタツ ス		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Ditrichia viscosa</i>		ディトリキ ア属			EFSA, 2023a	
キク科(Compositae)	<i>Encelia farinosa</i>		エンケリア 属	エンケリ ア・ファリ ノサ	brittlebush	Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron</i> sp.		ムカシヨモ ギ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron bonariensis</i>	<i>Conyza bonariensis</i>	ムカシヨモ ギ属 (コニ ザ属)	アレチノギ ク		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron canadensis</i>	<i>Conyza canadensis</i>	ムカシヨモ ギ属 (コニ ザ属)	ヒメムカシ ヨモギ		Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron karvinskianus</i>	<i>E. mucronatus</i>	ムカシヨモ ギ属	ペラペラヨ メナ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

キク科(Compositae)	<i>Erigeron sumatrensis</i>	<i>Conyza albida</i>	ムカシヨモギ属 (コニザ属)	オオアレチノギク		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Eriocephalus africanus</i>		エリオケファルス属			EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Euryops chrysanthemoides</i>		エウリオプス属	エウリオプス・クリサンテモイデス		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; PACA, 2018	
キク科(Compositae)	<i>Euryops pectinatus</i>		エウリオプス属	エウリオプス・ペクティナツス		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Facelis retusa</i>		キヌゲチチコグサ属	キヌゲチチコグサ		EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
キク科(Compositae)	<i>Gazania rigens</i>		ガザニア属	ガザニア・リゲンス		EFSA, 2023a	
キク科(Compositae)	<i>Helianthus</i> sp.		ヒマワリ属			EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Helianthus annuus</i>		ヒマワリ属	ヒマワリ	sunflower	EFSA, 2016, 2018, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Helichrysum</i> sp.		ヘリクリスム属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Helichrysum italicum</i>		ヘリクリスム属	ヘリクリスム・イタリクム		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Helichrysum stoechas</i>		ヘリクリスム属	ヘリクリスム・ストエカス		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

キク科(Compositae)	<i>Heterotheca grandiflora</i>		アレチオグルマ属	ヘテロテカ・グランディフロラ	telegraph weed	Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Hypochaeris brasiliensis</i>		エゾコウゾリナ属	ヒポカエリス・ブラシリエンシス		EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
キク科(Compositae)	<i>Iva annua</i>		イウァ属	イウァ・アンヌア		EFSA, 2016, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Lactuca serriola</i>		アキノノゲシ属	トゲチシャ	prickly lettuce	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Osteospermum ecklonis</i>	<i>Dimorphotheca ecklonis</i>	オステオスペルムム属 (ディモルフオテカ属)			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Osteospermum fruticosum</i>	<i>Dimorphotheca fruticosa</i>	オステオスペルムム属 (ディモルフオテカ属)	オステオスペルムム・フルティコサ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; POnTE, 2019a, b	
キク科(Compositae)	<i>Parthenium hysterophorus</i>		パルテニウム属	パルテニウム・ヒステロフォルス		EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Phagnalon saxatile</i>		ファグナロン属	ファグナロン・サクサチレ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Pluchea odorata</i>		ヒイラギギク属	タワダギク		EFSA, 2016, 2020	

キク科(Compositae)	<i>Ratibida columnaris</i>	<i>R. columnifera</i>	ラティビダ 属	ラティビ ダ・コルム ナリス		EFSA, 2016, 2020, 2023a; EPPO GDB, 2024b; Nunney et al., 2013	
キク科(Compositae)	<i>Santolina sp.</i>		サントリナ 属			EFSA, 2023a	
キク科(Compositae)	<i>Santolina chamaecyparissus</i>		サントリナ 属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キク科(Compositae)	<i>Santolina magonica</i>		サントリナ 属	サントリ ナ・マゴニ カ		EFSA, 2022	
キク科(Compositae)	<i>Senecio cineraria</i>	<i>Jacobaea maritima</i>	セネキオ属	シロタエギ ク		EFSA, 2023a	
キク科(Compositae)	<i>Senecio grisebachii</i>		セネキオ属			De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Senecio inaequidens</i>		セネキオ属			EFSA, 2023c	
キク科(Compositae)	<i>Senecio vulgaris</i>		セネキオ属	ノボロギク		CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Silybum marianum</i>		オオアザミ 属	オオアザミ	variegated thistle	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Solidago canadensis</i>		アキノキリ ンソウ属	カナダアキ ノキリンソ ウ		EFSA, 2020	

キク科(Compositae)	<i>Solidago fistulosa</i>		アキノキリンソウ属	ソリダゴ・フィスツローサ		EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
キク科(Compositae)	<i>Solidago virgaurea</i>		アキノキリンソウ属	ソリダゴ・ウィルガウレア		EFSA, 2016, 2018, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Sonchus</i> sp.		ノゲシ属			CABI, 2024; Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Sonchus oleraceus</i>		ノゲシ属	ノゲシ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Symphotrichum divaricatum</i>		ホウキギク属	シンフィオトリクム・ディウアリカツム		EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Taraxacum officinale</i>	<i>T. vulgare</i>	タンポポ属	セイヨウタンポポ	common dandelion	CABI, 2024; EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
キク科(Compositae)	<i>Vernonia</i> sp.		ヴァーノニア属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; Leite et al., 1997	
キク科(Compositae)	<i>Xanthium spinosum</i>		オナモミ属	クサンティウム・スピノスム		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Xanthium strumarium</i>		オナモミ属	クサンティウム・ストルマリウム		EFSA, 2016, 2018, 2020	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Catharanthus</i>		ニチニチソウ属			EPPO GDB, 2024b	

キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Catharanthus roseus</i>	<i>Vinca rosea</i>	ニチニチソ ウ属	ニチニチソ ウ	Madagascar periwinkle	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Ueno et al., 1998	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Nerium oleander</i>		キョウチク トウ属	セイヨウキ ョウチクト ウ	common oleander	CABI, 2024; Costa et al., 2004; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2018; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Vinca</i>		ツルニチニ チソウ属			DGAV, 2020; EPPO GDB, 2024b; Nunney et al., 2013	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Vinca major</i>		ツルニチニ チソウ属	ツルニチニ チソウ		EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Vinca minor</i>		ツルニチニ チソウ属	ヒメツルニ チニチソウ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
キンポウゲ科 (Ranunculaceae)	<i>Clematis cirrhosa</i>		クレマティ ス属			EFSA, 2023a	
キンポウゲ科 (Ranunculaceae)	<i>Clematis vitalba</i>		クレマティ ス属	クレマティ ス・ウィタ ルバ		EFSA, 2023a	
キンポウゲ科 (Ranunculaceae)	<i>Ranunculus repens</i>		キンポウゲ 属	ハイキンポ ウゲ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020 ; EPPO GDB, 2024b ; EPPO, 2018	

クスノキ科 (Lauraceae)	<i>Laurus nobilis</i>		ゲッケイジュ属	ゲッケイジュ	bay laurel	EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b	
クスノキ科 (Lauraceae)	<i>Persea americana</i>		ワニナシ属	アボカド	avocado	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
クスノキ科 (Lauraceae)	<i>Sassafras</i> sp.		サッサfras属			EFSA, 2020	
クスノキ科 (Lauraceae)	<i>Sassafras albidum</i>		サッサfras属			EFSA, 2020	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Callicarpa americana</i>		ヤブムラサキ属	アメリカムラサキシキブ	French mulberry	EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Duranta erecta</i>	<i>D. repens</i>	ハリマツリ属	ハリマツリ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Lippia nodiflora</i>	<i>Phyla nodiflora</i>	イワダレソウ属	イワダレソウ	frogfruit	CABI, 2024; EFSA, 2015, 2016; EPPO GDB, 2024b	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Verbena litoralis</i>		バーベナ属	バーベナ・リトラリス		EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Vitex agnus-castus</i>		ハマゴウ属	セイヨウニンジンボク		EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Vitex lucens</i>		ハマゴウ属	ウイテクス・ルケンス		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
グミ科 (Elaeagnaceae)	<i>Elaeagnus angustifolia</i>		グミ属	ヤナギバグミ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
グミ科 (Elaeagnaceae)	<i>Elaeagnus × submacrophylla</i>		グミ属	オオバツルグミ		EFSA, 2023a	

クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya</i> sp.		ペカン属			EFSA, 2018, 2020	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya aquatica</i>		ペカン属			EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya cathayensis</i>		ペカン属	カリア・カタイエンス		EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya cordiformis</i>	<i>C. amara</i>	ペカン属	カリア・コルディフォルミス		EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya floridana</i>		ペカン属			EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya glabra</i>		ペカン属	カリア・グラブラ		EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya illinoensis</i>	<i>C. pecan</i>	ペカン属	ペカン	pecan	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Hilton et al., 2017; Nunney et al., 2013	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya laciniosa</i>		ペカン属			EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya pallida</i>		ペカン属			EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya palmeri</i>		ペカン属			EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya tomentosa</i>	<i>C. alba</i>	ペカン属	カリア・トメントサ		EFSA, 2023a	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Juglans</i> sp.		クルミ属			CABI, 2024; EFSA, 2020	

クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Juglans californica</i>		クルミ属	ユグラン ス・カリフ オルニカ		CABI, 2024; Costa et al.,2004; EFSA, 2016	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Juglans regia</i>		クルミ属	ペルシャグ ルミ		EFSA, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Frangula alnus</i>	<i>Rhamnus frangula</i>	イソノキ属	フ랑 ラ・アルヌ ス		DGAV, 2020; EPPO GDB, 2024b	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Rhamnus sp.</i>		クロウメモ ドキ属			EFSA, 2023a	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Rhamnus alaternus</i>		クロウメモ ドキ属	ラムヌス・ アラテルム ス	Italian buckthorn	EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2019; FAO, 2019b	
クワ科(Moraceae)	<i>Broussonetia papyrifera</i>		コウゾ属	カジノキ		EFSA, 2020	
クワ科(Moraceae)	<i>Ficus carica</i>		イチジク属	イチジク	common fig	EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
クワ科(Moraceae)	<i>Humulus scandens</i>	<i>H. japonicus</i>	カラハナソ ウ属	カナムグラ		EFSA, 2016; EFSA, 2020; Su et al., 2013	
クワ科(Moraceae)	<i>Morus sp.</i>		クワ属			EFSA, 2020	
クワ科(Moraceae)	<i>Morus alba</i>		クワ属	トウグワ	white mulberry	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Harris et al., 2014	
クワ科(Moraceae)	<i>Morus nigra</i>		クワ属	クロミグワ	black mulberry	CABI, 2024; EFSA, 2016	

クワ科(Moraceae)	<i>Morus rubra</i>		クワ属		red mulberry	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Merriman, 2001	
ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae)	<i>Hebe</i>		ヘーベ属			DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Groenteman et al., 2015	
ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae)	<i>Hebe elliptica</i>		ヘーベ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae)	<i>Veronica</i>		クワガタソ ウ属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae)	<i>Veronica persica</i>		クワガタソ ウ属	オオイヌノ フグリ		EFSA, 2016, 2021; EPPO GDB, 2024b	
コリノカルプス科 (Corynocarpaceae)	<i>Corynocarpus laevigatus</i>		コリノカル プス属	コリノカル プス・ラエ ウィガツス		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
シソ科(Labiatae)	<u><i>Clinopodium nepeta</i></u>	<u><i>Calamintha nepeta</i></u>	トウバナ属			EFSA, 2023c	追加
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula</i>		ラウアンド ウラ属			EFSA, 2016, 2020; EPPO, 2018	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula × chaytorae</i>		ラウアンド ウラ属			EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula × heterophylla</i>	<i>Lavandula × allardii</i>	ラウアンド ウラ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula × intermedia</i>		ラウアンド ウラ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula angustifolia</i>		ラウアンド ウラ属			DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula dentata</i>		ラウアンド ウラ属	キレハラベ ンダー		CABI, 2024; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula latifolia</i>		ラウアンド ウラ属	スパイクラ ベンダー	spike lavender	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b;	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula stoechas</i>		ラウアンド ウラ属			DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Leonurus sibiricus</i>		メハジキ属	ホソバメハ ジキ		EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
シソ科(Labiatae)	<i>Marrubium vulgare</i>		ニガハッカ 属	マルビウ ム・ウルガ レ	white horehound	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
シソ科(Labiatae)	<i>Melissa officinalis</i>		セイヨウヤ マハッカ属	メリッサ・ オッフイキ ナリス	common balm	EFSA, 2016, 2020	
シソ科(Labiatae)	<u><i>Mentha suaveolens</i></u>		ハッカ属		applemint	<u>EFSA, 2023b</u>	追加
シソ科(Labiatae)	<i>Origanum majorana</i>	<i>Majorana hortensis</i>	マジヨラム 属	オリガヌ ム・マヨラ ナ	sweet marjoram	EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	

シソ科(Labiatae)	<i>Phlomis fruticosa</i>		オオキセワ タ属	フロミス・ フルティコ サ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Phlomis italica</i>		オオキセワ タ属			EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Rosmarinus officinalis</i>	<i>Salvia rosmarinus</i>	ロスマリヌ ス属	マンネンロ ウ	rosemary	CABI, 2024; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Freitag, 1951	
シソ科(Labiatae)	<i>Salvia</i> sp.		サルウィア 属			EFSA, 2023b	
シソ科(Labiatae)	<i>Salvia abrotanoides</i>	<i>Perovskia abrotanoides</i>	サルウィア 属			EFSA, 2023b; EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Salvia apiana</i>		サルウィア 属	サルウィ ア・アピア ナ		Costa et al.,2004; EFSA, 2015, 2016	
シソ科(Labiatae)	<i>Salvia mellifera</i>		サルウィア 属	サルウィ ア・メッリ フェラ		Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
シソ科(Labiatae)	<i>Salvia officinalis</i>		サルウィア 属	ヤクヨウサ ルビア		EFSA, 2023a	
シソ科(Labiatae)	<i>Stachys arvensis</i>		イヌゴマ属	ヤブチョロ ギ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
シソ科(Labiatae)	<i>Teucrium capitatum</i>		ニガクサ属	テウクリウ ム・カピタ ツム		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

シソ科(Labiatae)	<i>Thymus vulgaris</i>		イブキジャコウソウ属	タチジャコウソウ	common thyme	EFSA, 2023a	
シソ科(Labiatae)	<i>Westringia fruticosa</i>		ウエストロングア属	ウエストロングア・フルティコサ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Saponari et al., 2014a	
シソ科(Labiatae)	<i>Westringia glabra</i>		ウエストロングア属	ウエストロングア・グラブラ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Lonicera</i> sp.		スイカズラ属			EFSA, 2023c	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Lonicera implexa</i>		スイカズラ属			EFSA, 2022	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Lonicera japonica</i>		スイカズラ属	スイカズラ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Merriman, 2001	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Lonicera periclymenum</i>		スイカズラ属	ニオイニンドウ		EFSA, 2023b	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus</i>		ニワトコ属	ニワトコ属		CABI, 2024; Costa et al., 2004; EFSA, 2015, 2016, 2020	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus canadensis</i>		ニワトコ属	アメリカニワトコ	American elder	EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	

スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus cerulea</i>		ニワトコ属			EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus mexicana</i>		ニワトコ属			EFSA, 2013, 2015, 2016; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus nigra</i>		ニワトコ属	セイヨウニワトコ	European Elder	EFSA, 2023b; EPPO GDB, 2024b	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Viburnum tinus</i>		ガマズミ属	ウィブルヌム・ティヌス		EFSA, 2022; EPPO GDB, 2024b	
スズカケノキ科 (Platanaceae)	<i>Platanus sp.</i>		スズカケノキ属			CABI, 2024; EFSA, 2020	
スズカケノキ科 (Platanaceae)	<i>Platanus occidentalis</i>		スズカケノキ属	アメリカスズカケノキ		CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; Harris et al., 2014; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
スズカケノキ科 (Platanaceae)	<i>Platanus × hispanica</i>		スズカケノキ属			EFSA, 2023b	

スズカケノキ科 (Platanaceae)	<i>Platanus racemosa</i>		スズカケノ キ属	カリフォル ニアスズカ ケノキ		Costa et al.,2004; EFSA, 2015, 2016	
スベリヒユ科 (Portulacaceae)	<i>Montia linearis</i>	<i>Montiastrum lineare</i>	モンティア (モンティ アストル ム) 属	モンティ ア・リネア リス (モン ティアスト ルム・リネ アレ)		EFSA, 2016, 2020	
スベリヒユ科 (Portulacaceae)	<i>Portulaca oleracea</i>		スベリヒユ 属	スベリヒユ	purslane	CABI, 2024; Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
スベリヒユ科 (Portulacaceae)	<i>Talinum paniculatum</i>	<i>T. patens</i>	ハゼラン属	ハゼラン		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
スミレ科(Violaceae)	<i>Melicytus ramiflorus</i>		メリキツス 属	メリキツ ス・ラミフ ロールス		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
セリ科(Umbelliferae)	<i>Conium maculatum</i>		ドクニンジ ン属	ドクニンジ ン	poison hemlock	CABI, 2024; De Coll et al., 2000; EFSA, 2016, 2020	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Eriogonum</i> sp.		エリオゴヌ ム属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Fallopia japonica</i>	<i>Polygonum reynoutria, Reynoutria japonica</i>	ソバカズラ 属	イタドリ	Japanese knotweed	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

タデ科 (Polygonaceae)	<i>Persicaria lapathifolia</i>	<i>Polygonum lapathifolium</i>	イヌタデ属	オオイヌタ デ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Persicaria maculosa</i>	<i>Polygonum persicaria</i>	イヌタデ属	ペルシカリ ア・マクロ ーサ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Polygonum arenastrum</i>		ミチヤナギ 属	ポリゴヌ ム・アレナ スツルム		EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Polygonum aviculare</i>		ミチヤナギ 属	ミチヤナギ		CABI, 2024	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Rumex sp.</i>		ギシギシ属			EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Rumex crispus</i>		ギシギシ属	ナガバギシ ギシ	curled dock	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
ツゲ科(Buxaceae)	<i>Simmondsia chinensis</i>		シモンジア 属	ホホバ	jojoba	EFSA, 2015, 2016, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Arbutus unedo</i>		アルブツス 属	アルブツ ス・ウネド		EFSA, 2022; EPPO GDB, 2024b	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Arctostaphylos sp.</i>		アルクトス タフィロス 属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Calluna vulgaris</i>		カルナ属	ギョリュウ モドキ		DGAV, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Erica cinerea</i>		エリカ属	エリカ・キ ネレア	bell heather	EFSA, 2022; EPPO GDB, 2024b	

ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium</i>		スノキ (コケモモ) 属			CABI, 2024; EFSA, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium ashei</i>		スノキ (コケモモ) 属	ラビットアイ・ブルーベリー		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium corymbosum</i>		スノキ (コケモモ) 属	ヌマスノキ (ブルーベリー)		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium corymbosum</i> × <i>Vaccinium angustifolium</i>		スノキ (コケモモ) 属			EFSA, 2016	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium corymbosum</i> × <i>Vaccinium angustifolium</i> hybrid		スノキ (コケモモ) 属			EFSA, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium darrowii</i>		スノキ (コケモモ) 属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium elliotii</i>		スノキ (コケモモ) 属			EFSA, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium virgatum</i>		スノキ (コケモモ) 属			EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ツバキ科(Theaceae)	<i>Stewartia pseudocamellia</i>		ナツツバキ属	ナツツバキ		EFSA, 2020	
ツユクサ科 (Commelinaceae)	<i>Commelina benghalensis</i>		ツユクサ属	マルバツユクサ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ツユクサ科 (Commelinaceae)	<i>Commelina erecta</i>		ツユクサ属	シュッコンツユクサ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	

トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Croton setigerus</i>	<i>Eremocarpus setigerus</i>	ハズ属	クロトン・セティゲルス		Costello et al., 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Euphorbia chamaesyce</i>	<i>Chamaesyce canescens</i>	トウダイグサ属 (カマエシケ属)	ユーフォルビア・カマエシセ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; POnTE, 2019a, b	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Euphorbia hirta</i>	<i>Chamaesyce hirta</i>	トウダイグサ属 (カマエシケ属)	ユーフォルビア・ヒルタ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Euphorbia terracina</i>		トウダイグサ属	ユーフォルビア・テラキナ		EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; FAO, 2019b	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Hevea brasiliensis</i>		パラゴムノキ属	パラゴムノキ		EFSA, 2020	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Mallotus paniculatus</i>		アカメガシワ属	ウラジロアカメガシワ		EFSA, 2016, 2020; Su et al., 2013	
トケイソウ科 (Passifloraceae)	<i>Passiflora foetida</i>		トケイソウ属	パッシフロラ・フォエティダ		CABI, 2024; EFSA, 2020	
トチノキ科 (Hippocastanaceae)	<i>Aesculus</i>		トチノキ属	トチノキ属		CABI, 2024	
トチノキ科 (Hippocastanaceae)	<i>Aesculus × hybrida</i>		トチノキ属	アエスクルス・ヒブリダ		EFSA, 2016, 2020	
トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum crassifolium</i>		トベラ属	ピットスポルム・クラッシフォリウム		EFSA, 2016, 2020; Groenteman et al., 2015	

トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum eugenioides</i>		トベラ属	ピットスポ ルム・エウ ゲニオイデ ス		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum tenuifolium</i>		トベラ属	クロバトベ ラ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum umbellatum</i>		トベラ属	ピットスポ ルム・ウン ベラツム		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ナス科(Solanaceae)	<i>Datura wrightii</i>		ダツラ属	ダツラ・ラ イティイ	sacred datura	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
ナス科(Solanaceae)	<i>Solanum americanum</i>		ナス属	テリミノイ ヌホオズキ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ナス科(Solanaceae)	<i>Solanum elaeagnifolium</i>		ナス属	ソラヌム・ エラエアグ ニフォリウ ム		CABI, 2024; EFSA, 2016	
ナデシコ科 (Caryophyllaceae)	<i>Stellaria media</i>		ハコベ属	コハコベ	common chickweed	CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
ナンヨウスギ科 (Araucariaceae)	<i>Agathis australis</i>		アガティス 属	アガティ ス・アウス トラリス		EFSA, 2016, 2020; Groenteman et al., 2015	
ニシキギ科 (Celastraceae)	<i>Celastrus orbiculatus</i>		ツルウメモ ドキ属	ツルウメモ ドキ	oriental bittersweet	CABI, 2024; EFSA, 2015, 2016, 2020; EPPO, 2001; EPPO GDB, 2024b	

ニレ科(Ulmaceae)	<i>Celtis occidentalis</i>		エノキ属	アメリカエノキ		EFSA, 2016, 2020	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus</i>		ニレ属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus × hollandica</i>		ニレ属			EFSA, 2020	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus americana</i>		ニレ属	アメリカニレ	American elm	CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; Harris et al., 2014; Nunney et al., 2013	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus crassifolia</i>		ニレ属			EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus glabra</i>	<i>U. scabra</i>	ニレ属	セイヨウハルニレ	wych elm	EFSA, 2020	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus pumila</i>		ニレ属	ノニレ	Chinese elm	EFSA, 2020	
ノウゼンカズラ科 (Bignoniaceae)	<i>Campsis radicans</i>		ノウゼンカズラ属	アメリカノウゼンカズラ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ノウゼンカズラ科 (Bignoniaceae)	<i>Chitalpa tashkentensis</i>		チタルパ属	チタルパ・タシュケンテンシス		EFSA, 2016, 2020	
ノウゼンカズラ科 (Bignoniaceae)	<i>Jacaranda mimosifolia</i>		ジャカランダ属	ジャカランダ・ミモシフォリア	jacaranda	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
パイナップル科 (Bromeliaceae)	<i>Tillandsia usneoides</i>		ティランジア属	サルオガセモドキ	Spanish moss	EFSA, 2016	

バショウ科 (Musaceae)	<i>Strelitzia reginae</i>		ゴクラクチ ヨウカ属	ゴクラクチ ヨウカ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ハマジンチョウ科 (Myoporaceae)	<i>Eremophila maculata</i>		エレモフィ ラ属	エレモフィ ラ・マクラ タ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ハマジンチョウ科 (Myoporaceae)	<i>Myoporum sp.</i>		ミオポルム 属			EFSA, 2023a	
ハマジンチョウ科 (Myoporaceae)	<i>Myoporum insulare</i>		ミオポルム 属	ミオポル ム・インス ラレ		EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ハマジンチョウ科 (Myoporaceae)	<i>Myoporum laetum</i>		ミオポルム 属	ミオポル ム・ラエツ ム		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
バラ科(Rosaceae)	<i>Fragaria vesca</i>		オランダイ チゴ属	エゾノヘビ イチゴ	European strawberry	CABI, 2024	
バラ科(Rosaceae)	<i>Fragaria vesca</i> subsp. <i>californica</i>		オランダイ チゴ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Heteromeles arbutifolia</i>		ヘテロメレ ス属	ヘテロメレ ス・アルブ ティフオリ ア	toyon	Costa et al.,2004; EFSA, 2016; Merriman, 2001	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus</i>		サクラ属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	

バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus</i> (<i>Prunus salicina</i> × <i>Prunus angustifolia</i>) × (<i>Prunus salicina</i> × <i>Prunus munsoniana</i>)		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus americana</i>		サクラ属	アメリカスモモ	American plum	Costa et al.,2004; EFSA, 2015, 2016, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus angustifolia</i>		サクラ属	プルヌス・アングステイフォリア		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus armeniaca</i>		サクラ属	ホンアンズ	apricot	EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus avium</i>		サクラ属	セイヨウミザクラ	cherry	CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus cerasifera</i>		サクラ属	ミロバラン スモモ	myrobalan plum	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus cerasifera</i> × <i>Prunus munsoniana</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus cerasifera</i> × <i>Prunus salicina</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus cerasus</i>		サクラ属	スミセイヨウミザクラ	sour cherry	CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus davidiana</i>		サクラ属	ノモモ		CABI, 2024	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus domestica</i>		サクラ属	セイヨウスモモ	European plum	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus dulcis</i>	<i>P. amygdalus, P. communis</i>	サクラ属	アーモンド	almond	CABI, 2024; Costa et al., 2004; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2018; Krugner et al., 2012; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus dulcis</i> × <i>Prunus webbii</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus hortulana</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus laurocerasus</i>		サクラ属	セイヨウバクチノキ	cherry laurel	EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus mahaleb</i>		サクラ属	マハレブ		CABI, 2024	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus mexicana</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus mume</i>		サクラ属	ウメ	Japanese apricot	EFSA, 2015	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus munsoniana</i>		サクラ属			EFSA, 2020	

バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus persica</i>		サクラ属	モモ	peach	CABI, 2024; Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus persica</i> × <i>Prunus webbii</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus salicina</i>		サクラ属	ニホンスモモ	Japanese plum	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus salicina</i> × (<i>Prunus salicina</i> × <i>Prunus cerasifera</i>)		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus serotina</i>		サクラ属			CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus serrulata</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus simonii</i>		サクラ属	ベニスモモ	aplicot plum	EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus simonii</i> × <i>Prunus salicina</i> × <i>Prunus cerasifera</i> × <i>Prunus munsoniana</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus webbii</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<u><i>Pyracantha coccinea</i></u>		<u>トキワサン</u> ザシ属	<u>トキワサン</u> ザシ		<u>EFSA, 2023b</u>	<u>追加</u>
バラ科(Rosaceae)	<i>Pyrus</i>		ナシ属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	

バラ科(Rosaceae)	<i>Pyrus pyrifolia</i>		ナシ属	ニホンナシ	Japanese pear	EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa</i> sp.		バラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa californica</i>		バラ属	ロサ・カリ フォルニカ		EFSA, 2016, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa canina</i>		バラ属	ロサ・カニ ナ	dog rose	ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa</i> Cluster- flowered bush hybrids		バラ属			EPPO GDB, 2024b	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa floribunda</i>		バラ属	ロサ・フロ リブンダ		EFSA, 2016	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa multiflora</i>		バラ属	ノイバラ		EPPO GDB, 2024b	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus</i>		キイチゴ属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus fruticosus</i>		キイチゴ属			EFSA, 2016	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus hedycarpus</i> subsp. <i>procerus</i>		キイチゴ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus idaeus</i>		キイチゴ属	ヨーロッパ キイチゴ	European raspberry	EFSA, 2023a	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus procerus</i>		キイチゴ属			EFSA, 2015, 2016; EPPO, 2000; EPPO GDB, 2024b	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus rigidus</i>		キイチゴ属			EFSA, 2020	

バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus trivialis</i>		キイチゴ属			EFSA, 2015, 2016	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus ulmifolius</i>		キイチゴ属			EFSA, 2023a, EPPO, 2020; EPPO GDB, 2024b	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus ursinus</i>		キイチゴ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus vitifolius</i>		キイチゴ属			EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus sp.</i>		キスツス属			EFSA, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus albidus</i>		キスツス属	キスツス・アルビドウス		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus creticus</i>	<i>C. incanus</i>	キスツス属	キスツス・クレティクス		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus inflatus</i>		キスツス属			EFSA, 2023a	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus monspeliensis</i>		キスツス属	キスツス・モンスペリエンス		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus salviifolius</i>		キスツス属	キスツス・サルウィーフオリウス		DGAV, 2020; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ヒノキ科 (Cupressaceae)	<i>Juniperus ashei</i>		ビャクシン属	ユニペルス・アシェイ		EFSA, 2016, 2020	

ヒメハギ科 (Polygalaceae)	<i>Polygala</i> sp.		ヒメハギ属			EFSA, 2018, 2020	
ヒメハギ科 (Polygalaceae)	<i>Polygala</i> × <i>dalmaisiana</i>		ヒメハギ属			EFSA, 2020	
ヒメハギ科 (Polygalaceae)	<i>Polygala</i> × <i>grandiflora nana</i>		ヒメハギ属			EFSA, 2016, 2018, 2020	
ヒメハギ科 (Polygalaceae)	<i>Polygala myrtifolia</i>		ヒメハギ属	ポリガラ・ ミルティフ オリア		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2018; Saponari et al., 2014a	
ヒユ科 (Amaranthaceae)	<i>Altemanthera tenella</i>	<i>A. ficoidea</i>	ツルノゲイ トウ属	アルテルナ ンテラ・テ ネラ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ヒユ科 (Amaranthaceae)	<i>Amaranthus</i> sp.		ヒユ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
ヒユ科 (Amaranthaceae)	<i>Amaranthus</i> <i>retroflexus</i>		ヒユ属	アオゲイト ウ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; POnTE, 2019a, b	
ヒルガオ科 (Convolvulaceae)	<i>Convolvulus arvensis</i>		セイヨウヒ ルガオ属	セイヨウヒ ルガオ	field bindweed	CABI, 2024; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
ヒルガオ科 (Convolvulaceae)	<i>Convolvulus</i> <i>cneorum</i>		セイヨウヒ ルガオ属	コンウォル ウルス・ク ネオルム		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ヒルガオ科 (Convolvulaceae)	<i>Ipomoea fistulosa</i>	<i>I. carnea</i> subsp. <i>fistulosa</i>	サツマイモ 属	コダチアサ ガオ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

ヒルガオ科 (Convolvulaceae)	<i>Merremia macrocalyx</i>		コガネヒル ガオ属	メレミア・ マクロカリ クス		EFSA, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Erodium</i>		オランダフ ウロ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Erodium botrys</i>		オランダフ ウロ属	ナガミオラ ンダフウロ		EFSA, 2016; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Erodium cicutarium</i>		オランダフ ウロ属	オランダフ ウロ	red-stemmed filaree	CABI, 2024; EFSA, 2016; EFSA, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Erodium moschatum</i>		オランダフ ウロ属	ジャコウオ ランダフウ ロ		CABI, 2024; EFSA, 2016; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Geranium dissectum</i>		フウロソウ 属	オトメフウ ロ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Pelargonium</i>		ペラルゴニ ューム属			EFSA, 2016, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Pelargonium × hortorum</i>		ペラルゴニ ューム属			EFSA, 2015, 2016, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Pelargonium fragrans</i>		ペラルゴニ ューム属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Pelargonium graveolens</i>		ペラルゴニ ューム属	ニオイテン ジクアオイ		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Ampelopsis arborea</i>		ノブドウ属	アンペロプ シス・アル ボレア		EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> var. <i>hancei</i>	<i>A. glandulosa</i> var. <i>hancei</i> , <i>A. brevipedunculata</i> var. <i>glabrifolia</i>	ノブドウ属	テリハノブ ドウ		EFSA, 2020; Su et al., 2013	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i>	<i>A. glandulosa</i> var. <i>brevipedunculata</i>	ノブドウ属			EFSA, 2016, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Ampelopsis cordata</i>		ノブドウ属	アンペロプ シス・コル ダタ		EFSA, 2016, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Parthenocissus quinquefolia</i>		ツタ属	バージニア ツタ		EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>		ツタ属	ツタ		EFSA, 2020; Freitag, 1951	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis</i>		ブドウ属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012; Nunney et al., 2013	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis × champinii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis acerifolia</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis aestivalis</i>		ブドウ属			EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis aestivalis</i> hybrid		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis aestivalis</i> var. <i>smalliana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis aestivalis</i> var. <i>smalliana</i> × <i>Vitis simpsonii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica</i> × <i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica</i> × <i>Vitis vinifera</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica</i> hybrid		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica/candicans</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica/candicans</i> × <i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica/girdiana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica/girdiana</i> × <i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis berlandieri</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis bloodwothiana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis bourquiniana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis californica</i>		ブドウ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2016; EFSA, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis candicans</i>		ブドウ属			CABI, 2024; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis champinii</i> × (<i>Vitis solonis</i> × <i>Vitis othello</i>)		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis cinerea</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis cinerea</i> × <i>Vitis berlandieri</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis cinerea</i> var. <i>helleri</i> × <i>Vitis vulpina</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis girdiana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis labrusca</i>		ブドウ属	アメリカブ ドウ		CABI, 2024; EFSA, 2016; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2018	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis labrusca</i> × <i>Vitis vinifera</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis linsecumii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis monticola</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis munsoniana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis muscadina</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis mustangensis</i>		ブドウ属			EFSA, 2015; EFSA, 2016; EFSA, 2016	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis nesbittiana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis palmata</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis riparia</i>		ブドウ属			EPPO, 2018; EPPO GDB, 2024b	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis rotundifolia</i>		ブドウ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis rotundifolia</i> × <i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis rufoamentosa</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			CABI, 2024; EFSA, 2016; Janse and Obradovic, 2010	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis shuttleworthii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis simpsonii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis tiliaefolia</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis vinifera</i>		ブドウ属	ヨーロッパ ブドウ	European grape	CABI, 2024; Costa et al., 2004; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2018; Groenteman et al., 2015; Janse and Obradovic, 2010; Nunney et al., 2013	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis vulpina</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Eucalyptus</i> sp.		ユーカリノ キ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Eucalyptus camaldulensis</i>		ユーカリノ キ属	エウカリプ ツス・カマ ルドウレン シス		EFSA, 2015, 2016, 2020	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Eucalyptus globulus</i>		ユーカリノ キ属	エウカリプ ツス・グロ ブルス		EFSA, 2015, 2016, 2020	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Eugenia myrtifolia</i>		ユーゲニア 属	ユーゲニ ア・ミルテ イフォリア		EFSA, 2016; Freitag, 1951	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Metrosideros</i>		オオフトモ モ属			EFSA, 2015, 2016; Nunney et al., 2013	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Metrosideros excelsa</i>		オオフトモ モ属			DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; Groenteman et al., 2015	

フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Metrosideros kermadecensis</i>		オオフトモモ属			EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Myrtus communis</i>		ギンバイカ属	ギンバイカ	myrtle	DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; FAO, 2019b	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Psidium</i> sp.		バンジロウ属			EFSA, 2022	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Syzygium paniculatum</i>	<i>Eugenia paniculata</i>	フトモモ属	シジギウム・パニクラツム		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Castanea sativa</i>		クリ属	ヨーロッパグリ	European chestnut	EFSA, 2023b ; EPPO GDB, 2024b	追加
ブナ科(Fagaceae)	<i>Fagus crenata</i>		ブナ属	ブナ	Japanese beech	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus</i>		コナラ属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus agrifolia</i>		コナラ属			Costa et al., 2004; Costello et al., 2017; EFSA, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus alba</i>		コナラ属	クエルクス・アルバ	white oak	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus cerris</i>		コナラ属			EFSA, 2023c	

ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus coccinea</i>		コナラ属	クエルクス・コッキネア	scarlet oak	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus falcata</i>		コナラ属			Barnard, 1998; CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus ilex</i>		コナラ属			EFSA, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus imbricaria</i>		コナラ属			EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus incana</i>		コナラ属			Barnard, 1998; EFSA, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus laevis</i>		コナラ属			Barnard, 1998; CABI, 2024; EFSA, 2020; Nunney et al., 2013	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus laurifolia</i>		コナラ属			Barnard, 1998; CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus lobata</i>		コナラ属			EFSA, 2013, 2015, 2016; Janse and Obradovic, 2010	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus macrocarpa</i>		コナラ属	クエルクス・マクロカルパ	bur oak	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus nigra</i>		コナラ属			Barnard, 1998; CABI, 2024; EFSA, 2015, 2016, 2020	

ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus palustris</i>		コナラ属	アメリカガシワ	pin oak	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Harris et al., 2014; Nunney et al., 2013	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus phellos</i>		コナラ属			CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus pubescens</i>		コナラ属			EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus pyrenaica</i>		コナラ属			EFSA, 2023b; EPPO GDB, 2024b	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus robur</i>		コナラ属	オウシュウナラ	English oak	DGAV, 2020; EFSA, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus rubra</i>		コナラ属	アカガシワ	red oak	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Harris et al., 2014; Nunney et al., 2013	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus shumardii</i>		コナラ属			EFSA, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus suber</i>		コナラ属	コルクガシ	cork oak	DGAV, 2020; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus velutina</i>		コナラ属	クエルクス・ベルテナ	black oak	CABI, 2024; EFSA, 2015, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus virginiana</i>		コナラ属			Barnard, 1998; EFSA, 2016, 2020	
マツ科(Pinaceae)	<i>Pinus taeda</i>		マツ属	テーダマツ	loblolly pine	EFSA, 2016, 2020	

マツムシソウ科 (Dipsacaceae)	<i>Scabiosa</i> sp.		マツムシソウ属			EFSA, 2022	
マツムシソウ科 (Dipsacaceae)	<i>Scabiosa atropurpurea</i> var. <i>maritima</i>		マツムシソウ属	セイヨウマツムシソウ		EFSA, 2023a	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia</i> sp.		アカシア属			EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia cultriformis</i>	<i>A. cultrata</i>	アカシア属	サンカクバアカシア		EFSA, 2023a ; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia dealbata</i>		アカシア属	フサアカシア	mimosa	ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia longifolia</i>		アカシア属	ナガバアカシア		DGAV, 2020 ; EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia melanoxylon</i>		アカシア属	アカシア・メラノクシロン		EFSA, 2023a	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia saligna</i>		アカシア属	アカシア・サリグナ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Adenocarpus lainzii</i>	<i>A. complicatus</i> subsp. <i>lainzii</i>	アデノカルプス属	アデノカルプス・ラインジイ		EFSA, 2022	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Albizia julibrissin</i>		ネムノキ属	アルビジア・ユリブリッシン (ネムノキ)	silk tree	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Anthyllis barba-jovis</i>		アンティリス属	アンティリス・バルバ - ヨウイス		EFSA, 2023a	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Anthyllis hermanniae</i>		アンティリス属	アンティリス・ヘルマ ニアエ		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Calicotome</i> sp.		カリコトメ 属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Calicotome spinosa</i>	<i>Cytisus spinosus</i>	カリコトメ 属	カリコト メ・スピ ノ サ		EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2019	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Calicotome villosa</i>		カリコトメ 属	カリコト メ・ビル ロ サ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cercis canadensis</i>		ハナズオウ 属	アメリカハ ナズオウ		EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cercis occidentalis</i>		ハナズオウ 属	ケルキス・ オッキ デン タリス		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cercis siliquastrum</i>		ハナズオウ 属	セイヨウズ オウ		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Chamaecrista fasciculata</i>	<i>Cassia chamaecrista</i>	カワラケツ メイ属	カマエクリ スタ・ファ スキクラ タ	partridge pea	EFSA, 2016, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Coronilla valentina</i>	<i>C. valentina</i> subsp. <i>valentina</i>	コロニラ属			EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Coronilla valentina</i> subsp. <i>glauca</i>		コロニラ属			EFSA, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cytisus</i> sp.		エニシダ属			EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cytisus scoparius</i>		エニシダ属	エニシダ		DGAV, 2020; EFSA, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; FAO, 2019b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cytisus villosus</i>		エニシダ属	キティス ス・ビルロ スス		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2018, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista balearica</i>	<i>G. valdes-</i> <i>bermejoi</i>	ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2023b; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista corsica</i>		ヒトツバエ ニシダ属	ゲニスタ・ コルシカ		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista ephedroides</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; FAO, 2019b	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista hirsuta</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista lucida</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2018, 2020; EPPO, 2019	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista monspessulana</i>	<i>Teline monspessulana</i>	ヒトツバエ ニシダ属	ゲニスタ・ モンस्प スラーナ		EFSA, 2013, 2015, 2016; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista scorpius</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2023a	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista spachiana</i>	<i>Cytisus racemosus</i>	ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; FAO, 2019b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista triacanthos</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2023b; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista tricuspidata</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista tridentata</i>	<i>Pterospartum tridentatum</i>	ヒトツバエ ニシダ属			DGAV, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Gleditsia triacanthos</i>		サイカチ属	アメリカサ イカチ	honey locust	EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Lupinus aridorum</i>		ルピヌス属	ルピヌス・ アリドルム		EFSA, 2016, 2018, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Lupinus villosus</i>		ルピヌス属	ルピヌス・ ウィロスス		EFSA, 2016, 2018, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Medicago</i>		ウマゴヤシ 属			CABI, 2024	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Medicago arborea</i>		ウマゴヤシ 属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Medicago polymorpha</i>	<i>M. hispida</i>	ウマゴヤシ 属	ウマゴヤシ		CABI, 2024; De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Medicago sativa</i>		ウマゴヤシ 属	アルファル ファ	alfalfa	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; Krugner et al., 2012	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Melilotus</i> sp.		シナガワハ ギ属			EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Neptunia lutea</i>		ネプツニア 属	ネプツニ ア・ルテア		EFSA, 2016, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Retama monosperma</i>	<i>Genista monosperma</i> , <i>Spartium monospermum</i>	レタマ属	レタマ		EFSA, 2023a; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Robinia pseudoacacia</i>		ハリエンジ ユ属	ハリエンジ ユ	black locust, false acacia	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Senna obtusifolia</i>	<i>Cassia obtusifolia</i>	センナ属 (カシミア 属)	エビスグサ		CABI, 2024; EPPO GDB, 2024b; Lopes et al., 2003	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Senna tora</i>	<i>Cassia tora</i>	センナ属 (カシミア 属)	コエビスグ サ		CABI, 2024; EFSA, 2016; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Sophora secundiflora</i>		クララ属	ソフォラ・ セクンディ フロラ		EFSA, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Spartium</i> sp.		スパルティ ウム属			EPPO, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Spartium junceum</i>		スパルティ ウム属	レダマ		CABI, 2024; Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Trifolium</i>		シャジクソ ウ属			CABI, 2024	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Trifolium incarnatum</i>		シャジクソ ウ属	ベニバナツ メクサ		EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Trifolium repens</i>		シャジクソ ウ属	シロツメク サ	white clover	EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Trifolium repens</i> var. <i>latum</i>		シャジクソ ウ属			EFSA, 2015	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex</i> sp.		ハリエニシ ダ属			EFSA, 2023a	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex europaeus</i>		ハリエニシ ダ属	ハリエニシ ダ		DGAV, 2020; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex micranthus</i>		ハリエニシ ダ属			EFSA, 2023b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex minor</i>		ハリエニシ ダ属	ウレクス・ ミノル		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex parviflorus</i>		ハリエニシ ダ属			EFSA, 2023a	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Vicia ludoviciana</i>		ソラマメ属	ウィキア・ ルドウィキ アナ		EFSA, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Wisteria frutescens</i>		フジ属	アメリカフジ		EFSA, 2020	
マンサク科 (Hamamelidaceae)	<i>Liquidambar styraciflua</i>		フウ属	モミジバフウ	sweet gum	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Harris et al., 2014; Nunney et al., 2013	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus</i>		ミカン属 (カンキツ属)	ミカン属		CABI, 2024; Costa et al., 2004; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2018; Merriman, 2001; Minsavage et al., 1994	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus × limonia</i>		ミカン属 (カンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus × nobilis</i>		ミカン属 (カンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus × tangelo</i>		ミカン属 (カンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus aurantifolia</i>		ミカン属 (カンキツ属)	ライム	lime)	EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus aurantium</i>		ミカン属 (カンキツ属)		sour orange	EFSA, 2020	

ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus celebica</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	シトルス・ セレビカ		EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus clementina</i>		ミカン属 (カンキツ 属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus clementina</i> × <i>Citrus sinensis</i>		ミカン属 (カンキツ 属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus deliciosa</i> × <i>Citrus sinensis</i>		ミカン属 (カンキツ 属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus hystrix</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	コブミカン	kaffir lime	CABI, 2024	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus jambhiri</i>		ミカン属 (カンキツ 属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus latifolia</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	タヒチライ ム (ライ ム)	Tahiti lime (lime)	CABI, 2024	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus limon</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	レモン	lemon	CABI, 2024; Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus macrophylla</i>		ミカン属 (カンキツ 属)			EFSA, 2020	

ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus medica</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	シトロン	citron	EFSA, 2020;	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus natsudaidai</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	ナツミカン		EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus paradisi</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	グレープフ ルーツ	grapefruit	EFSA, 2016, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus reshni</i>		ミカン属 (カンキツ 属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus reticulata</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	マンダリン	mandarin orange	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus reticulata</i> × <i>C. paradisi</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	タンジェロ	tangelo	CABI, 2024	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus sinensis</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	スウィート オレンジ	sweet orange	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; Janse and Obradovic, 2010	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus sunki</i>		ミカン属 (カンキツ 属)			EFSA, 2015	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus tangerina</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	オオベニミ カン		EFSA, 2020	

ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus unshiu</i>		ミカン属 (カンキツ 属)	ウンシュウ ミカン	satsuma mandarin	EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Fortunella</i>		キンカン属			EPPO, 2018; EPPO GDB, 2024b	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Melicope temata</i>		メリコペ属	メリコペ・ テルナタ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Poncirus trifoliata</i>	<i>Citrus trifoliata</i>	カラタチ属	カラタチ	trifoliolate orange	EPPO GDB, 2024b	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Ruta chalepensis</i>		ヘンルーダ 属	ルタ・カレ ペンシス		EFSA, 2022	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Ruta graveolens</i>		ヘンルーダ 属	ヘンルーダ	common rue	EFSA, 2023a	
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Cornus florida</i>		ミズキ属	アメリカヤ マボウシ	flowering dogwood	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Cornus sanguinea</i>		ミズキ属			EFSA, 2023c	追加
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Corokia sp.</i>		コロキア属			EFSA, 2020	
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Corokia cotoneaster</i>		コロキア属	コロキア・ コトネアス テル		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Corokia macrocarpa</i>		コロキア属	コロキア・ マクロカル パ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ミソハギ科 (Lythraceae)	<i>Lagerstroemia sp.</i>		サルスベリ 属			EFSA, 2018, 2020	

ミソハギ科 (Lythraceae)	<i>Lagerstroemia indica</i>		サルスベリ 属	サルスベリ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ムクロジ科 (Sapindaceae)	<i>Alectryon excelsus</i>		アレクトリ オン属	アレクトリ オン・エク スケルスス		EFSA, 2016, 2020; Groenteman et al., 2015	
ムクロジ科 (Sapindaceae)	<i>Dodonaea viscosa</i>		ハウチワノ キ属	ハウチワノ キ	hopbush	DGAV, 2020; EFSA, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; FAO, 2019b	
ムクロジ科 (Sapindaceae)	<i>Koelreuteria bipinnata</i>		モクゲンジ 属	フクワバモ クゲンジ		EFSA, 2016, 2018, 2020	
ムクロジ科 (Sapindaceae)	<i>Sapindus saponaria</i>		ムクロジ属	ムクロジ		EFSA, 2016, 2020	
ムラサキ科 (Boraginaceae)	<i>Echium plantagineum</i>	<i>E. lycopsis</i>	エキウム属	エキウム・ プランタギ ネウム		EFSA, 2022	
ムラサキ科 (Boraginaceae)	<i>Heliotropium europaeum</i>		キダチルリ ソウ属	ヨウシュキ ダチルリソ ウ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ムラサキ科 (Boraginaceae)	<i>Heliotropium fruticosum</i>		キダチルリ ソウ属			EFSA, 2020	
ムラサキ科 (Boraginaceae)	<i>Heliotropium indicum</i>		キダチルリ ソウ属	ナンバンル リソウ		EFSA, 2020	
メギ科 (Berberidaceae)	<i>Berberis thunbergii</i>		メギ属	メギ	Japanese barberry	EFSA, 2023a	
メギ科 (Berberidaceae)	<i>Nandina domestica</i>		ナンテン属	ナンテン	heavenly bamboo	CABI, 2024; EFSA, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Chionanthus sp.</i>		ヒトツバタ ゴ属			EFSA, 2020	

モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Chionanthus retusus</i>		ヒトツバタ ゴ属	ヒトツバタ ゴ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus</i>		トネリコ属			EFSA, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus americana</i>		トネリコ属	アメリカト ネリコ	white ash	EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus angustifolia</i>		トネリコ属	ホソバトネ リコ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus dipetala</i>		トネリコ属			EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus excelsior</i>		トネリコ属	セイヨウト ネリコ		EFSA, 2023c	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus latifolia</i>		トネリコ属			EFSA, 2015	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus pennsylvanica</i>		トネリコ属	ビロウドト ネリコ	green ash	EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Ligustrum lucidum</i>		イボタノキ 属	トウネズミ モチ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Ligustrum sinense</i>		イボタノキ 属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Olea sp.</i>		オリーブ属			EFSA, 2018, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Olea europaea</i>		オリーブ属	オリーブ	olive	Costa et al.,2004; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b; EPPO, 2018; Krugner et al., 2014; Nunney et al., 2013	

モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Olea europaea</i> subsp. <i>europaea</i>		オリーブ属		European olive	CABI, 2024	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Olea europaea</i> subsp. <i>sylvestris</i>		オリーブ属			EFSA, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Phillyrea angustifolia</i>		フィリレア 属			EFSA, 2023a	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Phillyrea latifolia</i>		フィリレア 属	フィリレ ア・ラティ フォーリア		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
モクセイ科 (Magnoliaceae)	<i>Syringa vulgaris</i>		ハシドイ属	ムラサキハ シドイ	lilac	EFSA, 2023a	
モクレン科 (Magnoliaceae)	<i>Liriodendron tulipifera</i>		ユリノキ属	ユリノキ	tulip tree	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	
モクレン科 (Magnoliaceae)	<i>Magnolia grandiflora</i>		モクレン属	タイサンボ ク	southern magnolia	CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
モクレン科 (Magnoliaceae)	<i>Magnolia ×</i> <i>soulangeana</i>		モクレン属	ソコベニハ クモクレン		EFSA, 2023a	
モチノキ科 (Aquifoliaceae)	<i>Ilex aquifolium</i>		モチノキ属	セイヨウヒ イラギ	English holly	DGAV, 2020; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2024b	
モチノキ科 (Aquifoliaceae)	<i>Ilex vomitoria</i>		モチノキ属	ヤポンノキ		CABI, 2024; EFSA, 2015, 2016, 2020	
ヤシ科(Palmae)	<i>Phoenix</i> sp.		ナツメヤシ 属			EFSA, 2020	
ヤシ科(Palmae)	<i>Phoenix reclinata</i>		ナツメヤシ 属	セネガルヤ シ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	

ヤシ科(Palmae)	<i>Phoenix roebelenii</i>		ナツメヤシ 属	シンノウヤシ		CABI, 2024; EFSA, 2016, 2020	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix</i>		ヤナギ属			CABI, 2024; Costa et al., 2004; Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix laevigata</i>		ヤナギ属			EFSA, 2015	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix lasiolepis</i>		ヤナギ属	サリック ス・ラシオ レピス		EFSA, 2015	
ヤマモガシ科 (Proteaceae)	<i>Grevillea juniperina</i>		シノブノキ 属	グレヴィレ ア・ユニペ リナ		EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; FAO, 2019b	
ヤマモガシ科 (Proteaceae)	<u><i>Grevillea rosmarinifolia</i></u>		シノブノキ 属			<u>EFSA, 2023b</u>	追加
ユキノシタ科 (Saxifragaceae)	<i>Escallonia montevidensis</i>	<i>E. bifida</i>	エスカロニア属	エスカロニア・モンテ ビデンシス		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2024b	
ユキノシタ科 (Saxifragaceae)	<i>Hydrangea paniculata</i>		アジサイ属	ノリウツギ		EFSA, 2016, 2020	
ユリ科(Liliaceae)	<i>Asparagus acutifolius</i>		アスパラガス属	アスパラガス・アクテ ィフォリウス		DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2024b; b	

ユリ科(Liliaceae)	<i>Hemerocallis</i>		ワスレグサ 属			CABI, 2024; EFSA, 2013, 2015, 2016, 2020	
ユリ科(Liliaceae)	<i>Phormium colensoi</i>	<i>P. cookianum</i>	フォルミウ ム属			EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ユリ科(Liliaceae)	<i>Phormium tenax</i>		フォルミウ ム属	ニューサイ ラン		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
リュウゼツラン科 (Agavaceae)	<i>Cordyline</i>		センネンボ ク属			EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
リュウゼツラン科 (Agavaceae)	<i>Cordyline australis</i>		センネンボ ク属	ニオイシュ ロラン		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	

注) 備考欄の「追加」は、宿主植物として令和7（2025）年1月21日改訂時に追加した種。

**Xylella fastidiosa の宿主植物に関連する経路の年間輸入検査量
(発生国からの貨物、郵便物及び携帯品)**

(1) 栽植用植物

単位(数量): 本

植物名	生産国	2021		2022		2023	
		件数	数量	件数	数量	件数	数量
Alternanthera(ア ルターナンセラ属(水 草))	台湾			1	10		
Alternanthera(ア ルターナンセラ属(地上 部))	イスラエル	2	3,500				
Alternanthera(ア ルターナンセラ属)	スペイン	1	250				
Amaranthus(ヒユ 属)	ブラジル			1	1		
Artemisia(ヨモギ 属(地上部))	イスラエル	1	1,000	1	100		
Artemisia(ヨモギ 属)	イスラエル	1	153	7	5,355	2	612
	フランス					1	3
	米国	1	1			1	20
Berberis thunbergii(マキ)	米国	3	96				
Carex(スゲ属)	米国	2	2	1	1		
Catharanthus(ニ チチソウ属(地上 部))	コスタリカ					1	7,000
Citrus grandis(ブンタン (ホトトギス)(地上部))	フランス					1	1
Citrus limon(レモ ン)	ブラジル					1	5
Citrus sinensis(オレンジ)	スペイン	1	4				
Clematis(クレマチ ス属(センニンソウ属))	米国			1	1		
Coprosma(コプロ スマ属(地上部))	イスラエル	1	400	1	400	1	400
Cordyline australis(ニオイシロ ラン)	米国	1	72				

Cordyline fruticosa(=C. terminalis,C. compacta)(セネホク)	米国			3	1,944		
Cordyline stricta(コルティリネ・ストリクタ)	米国			2	648		
Cordyline(セネホク属(水草))	台湾			1	20		
Cordyline(セネホク属)	米国			2	1,224		
Cynodon dactylon(キョウキシバ(ハ-ミダグラス))	米国	1	7,667	1	5,307,300	1	6,660,000
Cynodon(キョウキシバ属)	米国	2	10,804,500				
Cyperus(カヤツリグサ属(地上部))	イスラエル	1	200	1	200	1	100
Dimorphotheca fruticosa (=Osteospermum fruticosum)(ティモルフオテカ・フルティコサ)	コスタリカ	3	150				
Erodium(オランダフウ属(地上部))	イスラエル	4	800	2	1,100	7	1,500
Erysimum(エリシムム属(地上部))	イスラエル			1	200		
Ficus carica(イチジク(地上部))	イスラエル	1	5				
	イタリア			15	81	5	285
	スペイン	11	40				
	フランス	2	4			49	157
	ポルトガル	1	4			2	8
	台湾					8	73
	米国	41	212	35	450	63	611
Ficus carica(イチジク)	イスラエル			1	10		
	イタリア			1	10	30	37
	イラン			1	1		
	フランス	1	50				
	ポルトガル	1	8	1	7		
	米国	13	183	14	372	27	179
Grevillea(グレビレア属)	米国			16	1,292		
	イスラエル	8	400	1	200	1	200

Helianthus annuus(ヒマワリ(地上部))	コスタリカ					1	50
Helichrysum italicum(ヘリクリスム・イタリクム(地上部))	イスラエル	1	600				
Helichrysum italicum(ヘリクリスム・イタリクム)	イスラエル			1	153		
Helichrysum(ヘリクリスム (ムギワラギク) 属(地上部))	イスラエル	3	1,100	2	600		
	メキシコ	12	16,600				
Helichrysum(ヘリクリスム (ムギワラギク) 属)	イスラエル	1	153	3	459		
Heliotropium(キタチルリソウ属(地上部))	コスタリカ	12	42,100	8	20,300		
Hemerocallis(ワスレグサ属)	米国	2	73	2	16	8	8
Hibiscus rosa-sinensis(フツツウケ (地上部))	台湾			1	3,120		
Hibiscus rosa-sinensis(フツツウケ)	米国					7	6,904
Hibiscus(フヨウ属(ハイビスカス))	フランス	1	1				
	米国	2	60	2	2		
Hydrangea paniculata(ノリウツギ)	米国	12	582			1	1,520
Hypericum perforatum(=Hypericum officinale)(ヒペリックム・ヘルフォラツム(地上部))	イスラエル			12	1,200		
Lagerstroemia indica(サルスベリ)	イスラエル					27	432
	米国	1	30	3	4,560	8	4,398
Lagerstroemia(サルスベリ属)	米国					4	917
Laurus nobilis(ゲッケイジュ)	イタリア					2	50
	ポルトガル	1	1				
Lavandula(ラヴァンチュラ(ラバンジュユ)属(地上部))	イスラエル	64	52,875	40	40,000	21	18,800
	スペイン	5	520	2	700	4	100

Lavandula(ラヴァン トウラ(ラバンジュウ) 属)	イスラエル	18	3,816	21	5,386	13	7,551
	スペイン			5	260	2	200
Ligustrum(休タ キ属)	米国					1	64
Lonicera japonica(スイカス ウ)	カナダ			1	3		
Ludwigia grandiflora(ルト ヴィギア・グランディ フロ)	台湾					1	10
Magnolia(モクレン 属)	台湾					3	110
Melissa officinalis(メリッサ・ オフィキナリス)	ブラジル			1	1		
Mentha(ハッカ属 (地上部))	イスラエル	18	2,700	8	3,800		
Mentha(ハッカ属)	イスラエル	1	153	32	9,180		
	フランス					1	18
	米国			4	8		
Morus(クワ属)	台湾			1	20	1	50
Olea europaea(オリーブ 盆栽)	イタリヤ					1	37
Olea europaea(オリーブ (地上部))	イタリヤ	1	100				
	スペイン					1	19
Olea europaea(オリー ブ)	イタリヤ	41	12,942	30	25,867	38	7,650
	スペイン	24	611	12	456	31	556
	米国					1	1
Olea(オリーブ属)	イタリヤ			1	22		
Osteospermum(オステオスペルム属 (地上部))	イタリヤ	10	100	1	70		
	スペイン	1	200				
Pelargonium zonale(モンテジク アオイ)	イタリヤ			1	300		
Pelargonium(ヘ ラルク・ニューム属(地 上部))	イスラエル	1	2,100	2	800	1	2,600
Pelargonium(ヘ ラルク・ニューム属)	イタリヤ	1	1				
	スペイン	1	1	2	3		
	フランス	2	3				
	台湾	1	14			2	101
	米国	8	19	1	19		

Persea americana(アホカト(地上部))	ブラジル			1	1		
	米国	1	200	1	100		
Persea americana(アホカト)	フランス					1	2
	台湾	23	1,127	10	480	2	502
Phoenix(ナツメヤシ属)	米国					1	2
Phormium tenax(ニューサイラン(地上部))	コスタリカ			2	800		
Phormium tenax(ニューサイラン)	コスタリカ	11	14,000	15	9,550	11	18,630
	米国			1	432	1	72
Phormium(フォルミウム属(ニューサイラン属))	コスタリカ	1	500	23	14,750		
Portulaca oleracea(スヘリヒユ(地上部))	イスラエル	10	360				
	コスタリカ			5	7,550	9	6,000
Portulaca oleracea(スヘリヒユ)	イスラエル					2	4
	ブラジル	1	2				
Prunus amygdalus(アーモンド)	フランス					1	1
	米国	4	12				
Prunus persica(桃)	スペイン	2	40				
Prunus(サクワ属(地上部))	米国					1	18
Prunus(サクワ属)	スペイン	5	20				
	台湾	2	79				
Psidium(ハンジロウ属)	米国					1	1
Quercus robur(オクシュウナラ)	イタリア					1	1
Quercus suber(コルクガシ)	スペイン	1	26			2	415
Quercus(コナラ属(ガシ属))	フランス					1	1
	米国					1	1
Rhus(ウルシ属)	米国	1	38	1	1		
Rosa canina(ロサ・カナ)	フランス			5	5		
Rosa(ハナダ属(地上部))	ブラジル			1	2		
	フランス	82	666	87	513	92	729
	台湾	1	5				
	米国	6	57	52	358		
Rosa(ハナダ属)	フランス			104	149	16	16

	米国	30	200			6	5,750
Rosmarinus officinalis(マンネロウ(ローズマリー)(地上部))	イスラエル	43	12,000	3	2,600		
Rosmarinus officinalis(マンネロウ(ローズマリー))	イスラエル	2	306	17	9,945		
	ブラジル			1	1		
Salix(ヤナギ属)	スペイン	1	10				
Salvia officinalis(ヤクヨウサルビア(地上部))	イスラエル	1	1,200				
Salvia officinalis(ヤクヨウサルビア)	ブラジル			1	1		
Salvia(サルウイア属(サルビア属)(地上部))	イスラエル	13	5,300	5	700		
	コスタリカ					4	10,200
Salvia(サルウイア属(サルビア属))	イスラエル	1	153	12	3,672		
	スペイン			3	312		
Sambucus(ニワトコ属(地上部))	カナダ			2	1,249		
Santolina chamaecyparissus(サントリナ(地上部))	イスラエル	1	1,500	1	100		
Santolina(サントリナ属)	イスラエル			1	153		
Scabiosa(マツムシウ属(地上部))	イスラエル	54	52,356	179	61,910	66	33,470
Scabiosa(マツムシウ属)	イスラエル	6	520	16	13,197	73	37,959
Schinus molle(コショウホク)	スペイン	1	30	3	34		
Senecio cineraria(シロタエギク(地上部))	イタリア	1	10				
Senecio(セネキア属(サワギク属)(地上部))	イスラエル			4	600		
	米国					1	1,000
Senecio(セネキア属(サワギク属))	イタリア	1	3			1	1
	ブラジル	1	1				
	米国	1	3	1	216		
Solidago canadensis(カナダアキノキノソウ(地上部))	イスラエル					6	360

Solidago canadensis(カタアキノキノソウ)	イスラエル	2	340	1	200		
Streptocarpus(ストレプトカルパス属)	米国	17	17	1	11		
Syringa vulgaris(ムラサキハントイ(地上部))	米国					4	200
Syringa vulgaris(ムラサキハントイ)	カタダ			1	2		
	米国					6	192
Thymus vulgaris(チンジャコウソウ(地上部))	イスラエル			1	800		
Tillandsia usneoides(サルオガセモトキ(テイランジア・ウスネイデス))	スペイン	1	1				
	台湾					1	2
	米国	1	1			2	130
Vaccinium corymbosum(ヌマスノキ(ブルーベリー))	米国	2	30				
Vaccinium(スノキ属(コケモモ属))	米国	2	2				
Vernonia(ヴァーノニア属(地上部))	台湾	2	42				
Veronica longifolia(ロンギフォリア(地上部))	イスラエル	1	150	6	1,575	2	980
Veronica longifolia(ロンギフォリア)	イスラエル	5	3,730	5	945	4	1,500
Vitex agnus-castus(イタリアンジンボク)	米国	3	190	2	76	2	236
Vitis vinifera(ヨーロッパブドウ(地上部))	米国	4	24	3	22	11	730
Vitis vinifera(ヨーロッパブドウ)	イタリア	6	150				
	米国					1	100
Vitis(ブドウ属(地上部))	フランス					15	600
	米国			10	1,167		
Vitis(ブドウ属)	フランス					1	1
	米国	17	1,851	12	601		

(2) 栽植用植物 (組織培養)

単位 (数量) : 個

植物名	生産国	2021	2022	2023
-----	-----	------	------	------

		件数	数量	件数	数量	件数	数量
Artemisia(ヨモギ属)	米国			2	16		
Cordyline stricta(コルデア・ストリクタ)	米国			3	50		
Cordyline(センボンボク属)	米国			3	48		
Fragaria(オランダイチゴ属)	米国	3	42				
Hydrangea paniculata(ノリウツギ)	米国					1	5
Lagerstroemia indica(サルスベリ)	米国	2	4				
Lavandula(ラヴァントウラ(ラバンジュユ)属)	米国	3	7			1	1
Osteospermum(オステオスペルムム属)	米国			1	2		
Panicum(ヒメ属)	米国			1	4		
Rubus allegheniensis(ワラックベリ)	米国					4	120
Rubus idaeus(ヨーロッパイチゴ(ラスベリ))	米国	1	50			2	60
Salvia(サルビア属(サルビア属))	米国	2	2				
Streptocarpus(ストレプトカルパス属)	米国					12	36
Trifolium repens(シロツメクサ)	米国					1	28
Vaccinium corymbosum(ヌマスノキ(ブルーベリ))	米国			1	50		
Veronica spicata(スベリカ)	米国	1	185	1	177		

(3) 栽植用球根
単位(数量) : 個

植物名	生産国	2021		2022		2023	
		件数	数量	件数	数量	件数	数量
Hemerocallis(ワスレグサ属)	米国	1	2				

引用文献

- Agdia (2021) PathoScreen® Kit for *Xylella fastidiosa* (Xf). (online), available from <<https://orders.agdia.com/pathoscreen-xf>>, (accessed 2024-05-13).
- ANSES (2017) Surveillance biologique du territoire (SBT) dans le domaine végétal. *Xylella fastidiosa* subsp. multiplex, Guide de reconnaissance des plantes hôtes potentielles en France. French Agency for Food, Environmental and Occupational Health & Safety (ANSES). (online), available from <<https://agriculture.gouv.fr/telecharger/85852>>, (accessed 2024-05-13).
- Australian Government (2023) Notification of amended emergency quarantine measures for *Xylella*. (online), available from <<https://www.agriculture.gov.au/biosecurity-trade/import/goods/plant-products/how-to-import-plants/xylella/notification-amended-emergency-quarantine-measures#nursery-stock-and-plant-tissue-cultures>>, (accessed 2024-05-13).
- Barnard, E. L. (1998) Distribution of *Xylella fastidiosa* in Oaks in Florida and Its Association with Growth Decline in *Quercus laevis*. *Plant Disease* 82: 569-572.
- CABI (2024) *Xylella fastidiosa* In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (accessed 2024-05-09).
- Carlucci, A., F. Lops, G. Marchi, L. Mugnai and G. Surico (2013) Has *Xylella fastidiosa* “chosen” olive trees to establish in the Mediterranean basin? *Phytopathologia Mediterranea* 52: 541–544.
- Cervantes, K., A. E. Hilton, R. A. Stamler, R. J. Heerema, C. Bock, X. Wang, Y. Jo, L. J. Grauke and J. J. Randall (2022) Evidence for Seed Transmission of *Xylella fastidiosa* in Pecan (*Carya illinoensis*). *Frontiers in Plant Science* 13: 780335-780335. (online), available from <<https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fpls.2022.780335/full>>, (accessed 2024-05-13).
- Chauvel, G., A. Cruaud, B. Legendre, J. F. Germain and J. Y. Rasplus (2015 a) MANUEL SUR LES INSECTES VECTEURS POTENTIELS DE XYLELLA FASTIDIOSA EN CORSE Direction régionale de l'alimentation, de l'agriculture et de la forêt de Corse Le ministère de l'agriculture en région. (online), available from <https://draaf.corse.agriculture.gouv.fr/IMG/pdf/Manuel_Vecteurs_Xylella_octobre2015_cle09c763.pdf>, (accessed 2024-05-13).
- Chauvel, G., A. Cruaud, B. Legendre, J. F. Germain and J. Y. Rasplus (2015b) Mission d'expertise sur *Xylella fastidiosa* en Corse. Rapport définitif (2015-08-31): 139 pp.
- Coelho, J. H. C., N. L. Ximenes, M. R. Felipe, L. H. Montesino, L. F. Garbim, A. L. Sanches, W. D. Jr. Pria, and P. T. Yamato (2008) Faunistic analysis of sharpshooters (Hemiptera: Auchenorrhyncha, Cicadellidae) in a ‘Westin’ sweet orange orchard. *Neotropical Entomology* 37:449-456.
- Coletta-Filho H. D., S. A. Carvalho, L. F. C. Silva and M. A. Machado (2014) Seven years of negative detection results confirm that *Xylella fastidiosa*, the causal agent of CVC, is not transmitted from seeds to seedlings. *European Journal of Plant Pathology* 139: 593–596.
- Cornara, D., M. Saponari, A. R. Zeilinger, A. de Stradis, D. Boscia, G. Loconsole, D. Bosco, G. P. Martelli, R. P. P. Almeida and F. Porcelli (2017a) Spittlebugs as vectors of *Xylella fastidiosa* in olive orchards in Italy. *Journal of Pest Science* 90: 521-530.
- Cornara, D., V. Cavaliere, C. Dongiovanni, G. Altamura, F. Palmisano, D. Bosco, F. Porcelli, R. P. P. Almeida and M. Saponari (2017b) Transmission of *Xylella fastidiosa* by naturally infected *Philaenus spumarius* (Hemiptera, Aphrophoridae) to different host plants. *Journal of Applied Entomology* 141: 80-87.
- Costa, H. S., E. Raetz, T. R. Pinckard, C. Gispert, R. Hernandez-Martinez, C. K.

- Dumenyo and D. A. Cooksey (2004) Plant hosts of *Xylella fastidiosa* in and near southern California vineyards. *Plant Disease* 88: 1255-1261.
- Costello, M. J., S. J. Steinmu and C. J. Boisseranc (2017) Environmental variables influencing the incidence of Pierce's disease. *Australian Journal of Grape and Wine Research* 23: 287-295.
- De Coll, O. R., A. M. M. D. Remes-Lenicov, J. P. Agostini and S. Paradell (2000) Detection of *Xylella fastidiosa* in Weeds and Sharpshooters in Orange Groves Affected with Citrus Variegated Chlorosis in Misiones, Argentina. In International Organization of Citrus Virologists Conference Proceedings (1957-2010) 14:14.
- DGAV (2020) Atualização da zona demarcada para *Xylella fastidiosa* – maio 2020. (online), available from <<https://www.agroportal.pt/atualizacao-da-zona-demarcada-para-xylella-fastidiosa-maio-2020/>>, (accessed 2024-05-13).
- Dupas, E., M. Briand, M. Jacques and S. Cesbron (2019) Novel tetraplex quantitative PCR assays for simultaneous detection and identification of *Xylella fastidiosa* subspecies in plant tissues. *Frontiers in Plant Science* 10:1732.
- EAEU (2022) Единые карантинные фитосанитарные требования, предъявляемые к подкарантинной продукции и подкарантинным объектам на таможенной границе и на таможенной территории Евразийского экономического союза (Unified phytosanitary quarantine requirements to quarantinable products and quarantinable items at the customs border and customs territory of the Eurasian economic union). (online), available from <<http://www.eurasiancommission.org/ru/act/texnreg/depsanmer/regulation/Pages/Фитосанитарные-меры.aspx>>, (accessed 2024-05-13).
- EFSA (2013) Statement of EFSA on host plants, entry and spread pathways and risk reduction options for *Xylella fastidiosa* Wells et al. *EFSA Journal* 11: 3468.
- EFSA (2015) Scientific opinion on the risk to plant health posed by *Xylella fastidiosa* in the EU territory, with the identification and evaluation of risk reduction options. *EFSA Journal* 13: 3989.
- EFSA (2016) Update of a Database of Host Plants of *Xylella fastidiosa*: 20 November 2015. *EFSA Journal* 14: 4378.
- EFSA (2018) Update of the *Xylella* spp. host plant database. Appendix B *Xylella fastidiosa* subspecies in naturally infected plants. *EFSA Journal* 16: 5408.
- EFSA (2020) Update of the *Xylella* spp. host plant database - systematic literature search up to 30 June 2019 (APPROVED: 6 April 2020). *EFSA Journal* 18: 6114.
- EFSA (2022) Update of the *Xylella* spp. host plant database - systematic literature search up to 31 December 2021 (APPROVED: 15 June 2022). *EFSA Journal* 20: 7356.
- EFSA (2023a) Update of the *Xylella* spp. host plant database - systematic literature search up to 30 June 2022 (APPROVED: 29 November 2022). *EFSA Journal* 21: 7726.
- EFSA (2023b) Update of the *Xylella* spp. host plant database – systematic literature search up to 31 December 2022. *EFSA Journal* 21:8061.
- EFSA (2023c) Update of the *Xylella* spp. host plant database – systematic literature search up to 30 June 2023. *EFSA Journal* 21:e8477. (online), available from <<https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/8477>>, (accessed 2024-07-25).
- Elbeaino, T., T. Yaseen, F. Valentini, I. E. Ben Moussa, V. Mazzone and A. M. D'onghia (2014) Identification of three potential insect vectors of *Xylella fastidiosa* in southern Italy. *Phytopathologia Mediterranea* 53: 328-332.
- EPPO (2000) Epidemiological studies on grapevine Pierce's disease (*Xylella fastidiosa*) in California, US, EPPO Reporting Service, 2000/104. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-3142>>, (accessed 2024-05-13).

- EPPO (2001) New data on quarantine pests and pests of the EPPO Alert List, EPPO Reporting Service, 2001/021. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-2846>>, (accessed 2024-05-13).
- EPPO (2018) *Xylella fastidiosa* in the EPPO region - Special Alert -. (online), available from <https://www.eppo.int/ACTIVITIES/plant_quarantine/shortnotes_qps/shortnotes_xylella>, (accessed 2024-05-13).
- EPPO (2019) First report of *Xylella fastidiosa* subsp. *multiplex* in Portugal. EPPO reporting service no. 01-2019, 2019/017. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-6447>>, (accessed 2024-05-13).
- EPPO GDB (2024a) *Xylella fastidiosa*. In: EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/taxon/XYLEFA/datasheet>>, (accessed 2024-05-09).
- EPPO GDB (2024b) *Xylella fastidiosa*. In: EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/taxon/XYLEFA/hosts>>, (accessed 2024-05-09).
- EPPO GDB (2024c) *Xylella fastidiosa* subsp. *pauca*. In: EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/taxon/XYLEFP/distribution>>, (accessed 2024-05-09).
- EPPO (2022) Preliminary evidence of seed transmission of *Xylella fastidiosa* in pecan (*Carya illinoensis*), 2022/133. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-7364>>, (accessed 2024-05-13).
- EPPO (2023) PM 7/24 (5) *Xylella fastidiosa*. OEPP/EPPO Bulletin. (online), available from <<https://gd.eppo.int/download/standard/148/pm7-024-5-en.pdf>>, (accessed 2024-05-09).
- EUR-Lex (2020) COMMISSION IMPLEMENTING REGULATION (EU) 2020/1201. (online), available from <https://eur-lex.europa.eu/eli/reg_impl/2020/1201/oj>, (accessed 2024-05-13).
- EUR-Lex (2021) COMMISSION IMPLEMENTING REGULATION (EU) 2021/1688. (online), available from <https://eur-lex.europa.eu/eli/reg_impl/2021/1688/oj>, (accessed 2024-05-13).
- FAO (2016) International Standard for Phytosanitary Measures 10 (ISPM 10), Requirements for the establishment of pest free places of production and pest free production sites. (online), available from <<https://www.ippc.int/en/publications/610/>>, (accessed 2024-09-13).
- FAO (2018) ISPM 27 Annex25 DP 25: Diagnostic protocols for regulated pests DP 25: *Xylella fastidiosa*.
- FAO (2019a) International Standard for Phytosanitary Measures 14 (ISPM 14), The use of integrated measures in a systems approach for pest risk management. (online), available from <<https://www.ippc.int/en/publications/607/>>, (accessed 2024-09-13).
- FAO (2019b) Guidelines for the prevention, eradication and containment of *Xylella fastidiosa* in olive-growing areas. (online), available from <<http://www.fao.org/3/i5994en/i5994en.pdf>>, (accessed 2024-05-13).
- FAO (2024) International Standard for Phytosanitary Measures 4 (ISPM 4), Requirements for the establishment of pest free areas. (online), available from <<https://www.ippc.int/en/publications/614/>>, (accessed 2024-09-13).
- Freitag, J.H. (1951) Host range of the pierce's disease virus of grapes as determined by insect transmission. *Phytopathology* 41: 920-934.
- Giampetruzzi, A., M. Saponari, G. Loconsole, D. Boscia, V. N. Savino, R. P. P. Almeida, S. Zicca, B. B. Launda, C. Chacon-Diaz, and P. Saldarelli (2017) Genome-wide analysis provides evidence on the genetic relatedness of the emergent *Xylella fastidiosa* genotype in Italy to isolates from central America. *Phytopathology* 107: 816-827.
- Groenteman, R., S. A. Forgie, M. S. Hoddle, D. F. Ward, D. F. Goeke and N. Anand (2015) Assessing invasion threats: novel insect-pathogen-natural enemy

- association with native New Zealand plants in southern California. *Biological Invasion* 17: 1299-1305.
- Harper, S. J., L. I. Ward and G. R. G. Clover (2010) Development of LAMP and real-time PCR methods for the rapid detection of *Xylella fastidiosa* for quarantine and field applications. *Phytopathology* 100: 1282-1288.
- Harris, J. L., P. L. Di Bello, M. Lear and Y. Balci (2014) Bacterial leaf scorch in the district of Columbia: distribution, host Range, and presence of *Xylella fastidiosa* among urban trees. *Plant Disease* 98: 1611-1618.
- Hartung, J. S., S. Nian, S. Lopes, A. J. Ayres and R. Bransky (2014) Lack of evidence for transmission of *Xylella fastidiosa* from infected sweet orange seed. *Journal of Plant Pathology* 96: 497-506.
- Hernandez-Martinez, R., K. A. de la Cerda H. S. Costa, D. A. Cooksey and F. P. Wong (2007) Phylogenetic relationships of *Xylella fastidiosa* strains isolated from ornamentals in southern California. *Phytopathology* 97: 857-864.
- Hilton, A. E., Y. K. Jo, K. Cervantes, R. A. Stamler, J. J. Randall, J. M. French, R. J. Heerema, N. P. Goldberg, J. Sherman, X. Wang and L. J. Grauke (2017) First report of pecan bacterial leaf scorch caused by *Xylella fastidiosa* in pecan (*Carya illinoensis*) in Arizona, New Mexico, California, and Texas. *Plant Disease* 101: 1949.
- IPPC (2017) Facing the threat of *Xylella fastidiosa* together. (online), available from <https://www.ippc.int/static/media/uploads/IPPC_factsheet_Xylella_final.pdf>, (accessed 2024-05-13).
- Janse, J. D. and A. Obradovic (2010) *Xylella fastidiosa*: Its biology, diagnosis, control and risks. *Journal of Plant Pathology* 92 (Supplement 1): S35-S48.
- Krugner, R., Ledbetter, C. A. and J. Chen (2012) Phenology of *Xylella fastidiosa* and its vector around California almond nurseries: an assessment of plant vulnerability to almond leaf scorch disease. *Plant Disease* 96: 1488-1494.
- Krugner R., M.W. Johnson and J. Chen (2010) Evaluation of pathogenicity and insect transmission of *Xylella fastidiosa* strains to olive plants. California Olive Committee Final Report 2010. (online), available from <<http://calolive.org/wp-content/uploads/Research-Reports-2010.pdf>>, (accessed 2024-05-13).
- Legendre B, S Mississippi, V Oliver, E Morel, D Cruzillat, K Durand, P Portier, F Poliakoff and MA Jacques (2014) Identification and characterisation of *Xylella fastidiosa* isolated from Coffee plants in France. Proceedings of the International Symposium on the European outbreak of *Xylella fastidiosa* in olive, Gallipoli-Locorotondo, Italy: 27-28.
- Legislation.gov.uk (2021) The Official Controls and Phytosanitary Conditions (Amendment) Regulations 2021. (online), available from <<https://www.legislation.gov.uk/ukxi/2021/136/regulation/5>>, (accessed 2024-05-13).
- Leite, R. M. V. B. C., R. P. Leite Junior and P. C. Ceresini (1997) Alternative hosts of *Xylella fastidiosa* in plum orchards with leaf scald disease. *Fitopatologia Brasileira* 2: 53-57.
- Li, W. B., W. D. Pria Jr., P. M. Lacava, X. Qin and J. S. Hartung (2003) Presence of *Xylella fastidiosa* in sweet orange fruit and seeds and its transmission to seedlings. *Phytopathology* 93: 953-958.
- Li, W. B., D. C. Teixeira, J. S. Hartung, Q. Huang, Y. Duan, L. Zhou, J. Chen (2013) Development and systematic validation of qPCR assays for rapid and reliable differentiation of *Xylella fastidiosa* strains causing citrus variegated chlorosis. *Journal of microbiological methods* 92: 79-89.
- Loewe (2023) *Xylella fastidiosa* grapevine isolate set (online), available from <<https://filgen.jp/Product/Bioscience4/Loewe/index.html>>, (accessed 2024-11-27).

- Lopes, S. A., S. Marcussi, S. C. Z. Torres, V. Souza, C. Fagan and S. C. França (2003) Weeds as alternative hosts of the citrus, coffee, and plum strains of *Xylella fastidiosa* in Brazil. *Plant Disease* 87: 544-549.
- LPSN (2024) List of Prokaryotic Names with Standing in Nomenclature. (online), available from <<https://lpsn.dsmz.de/>>, (accessed 2024-05-13).
- Merriman, P. (2001) Analysis of the potential for the establishment of Pierce's Disease in Australian grapevines, Department of Natural Resources & Environment.
- Minsavage, G. V., C. M. Thompson, D. L. Hopkins, R. M. V. B. C. Leite and R. E. Stall (1994) Development of a Polymerase Chain Reaction Protocol for Detection of *Xylella fastidiosa* in Plant Tissue. *Phytopathology* 84: 456-461.
- MPI (2024) Nursery Stock - Import Health Standard. (online), available from <<https://www.biosecurity.govt.nz/importing/plants/nursery-stock/requirements/>>, (accessed 2024-05-13).
- 農林省 (1950a) 植物防疫法施行規則 (昭和 25 年農林省令第 73 号) .
- 農林省 (1950b) 輸入植物検疫規程 (昭和 25 年農林省告示第 206 号) .
- 農林省 (1968) 隔離栽培運用基準 (昭和 43 年 5 月 20 日付け 43 農政 B 第 916 号農政局長通達) .
- 農林水産省 (1998) 輸出国における検疫措置を必要とする植物に係る輸入検疫実施要領 (平成 10 年 3 月 30 日付け 10 農産第 2122 号農産園芸局長通達) .
- Nunney, L., D. B. Vickerman, R. E. Bromley, S. A. Russell, J. R. Hartman, L. D. Morano and R. Stouthamer (2013) Recent evolutionary radiation and host plant specialization in the *Xylella fastidiosa* subspecies native to the United States. *Applied and Environmental Microbiology* 79: 2189–2200.
- Nunney, L., E. L. Schuenzel, M. Scally, R. E. Bromley, and R. Stouthamer (2014) Large-scale intersubspecific recombination in the plant-pathogenic bacterium *Xylella fastidiosa* is associated with the host shift to mulberry. *Applied and Environmental Microbiology* 80: 3025-3033.
- PACA (2018) Direction Régionale de l'Alimentation, de l'Agriculture et de la Forêt de la région Provence-Alpes-Côte-d'Azur. (online), available from <<https://draaf.paca.agriculture.gouv.fr/xylella-fastidiosa-situation-au-10-mars-2018-a1322.html>>, (accessed 2024-05-13).
- Pest Organisms Threatening Europe (POnTE) (2019a) The 12th update of the EC database of host plants found susceptible to *Xylella fastidiosa* in the EU territory has been released. (online), available from <<https://www.ponteproject.eu/news/the-12th-update-of-the-ec-database-of-host-plants-found-susceptible-to-xylella-fastidiosa-in-the-eu-territory-has-been-released/>>, (accessed 2024-05-13).
- Pest Organisms Threatening Europe (POnTE) (2019b) Research and Innovation Action H2020 Grant Agreement Number: 635646 Pest Organisms Threatening Europe (POnTE) DELIVERABLE 2.2 Definition of the host range of *Xylella fastidiosa* subspecies *pauca*, ST53. Ref. Ares (2019) 748932 - 08/02/2019.
- Purcell, A. H. and S. Saunders (1995) Harvested grape clusters as inoculum for Pierce's disease. *Plant Disease* 79: 190-192.
- Randall, J. J., N. P. Goldberg, J. D. Kemp, M. Radionenko, J. M. French, M. W. Olsen and S. F. Hanson (2009) Genetic analysis of a novel *Xylella fastidiosa* subspecies found in the southwestern United States. *Applied and Environmental Microbiology* 75: 5631–5638.
- Saponari, M., D. Boscia, G. Loconsole, F. Palmisano, V. Savino, O. Potere and G. P. Martelli (2014a) New hosts of *Xylella fastidiosa* strain CoDiRO in Apulia. *Journal of Plant Pathology* 96: 611.
- Saponari, M., G. Loconsole, D. cornara, R. K. Yokomi, A. D. Stradis, D. Boscia, D. Bosco, G. P. Martelli, R. Krugner and F. Porcelli (2014b) Infectivity and Transmission of *Xylella fastidiosa* by *Philaenus spumarius* (Hemiptera: Aphrophoridae) in Apulia, Italy. *Journal of*

Economic Entomology 107: 1316-1319.

- Saponari, M., D. Boscia, G. Altamura, G. D'Attoma, V. Cavalieri, S. Zicca, M. Morelli and D. Tavano (2016) Pilot Project on *Xylella fastidiosa* to Reduce Risk Assessment Uncertainties. EFSA Supporting Publication 2016: EN-1013.
- Schaad, N. W., E. Postnikova, G. Lacy, M. B. Fatmi and C. J. Chang (2004) *Xylella fastidiosa* subspecies: *X. fastidiosa* subsp. *piercei*, subsp. nov., *X. fastidiosa* subsp. *multiplex* subsp. nov., and *X. fastidiosa* subsp. *pauca* subsp. nov. Systematic and Applied Microbiology 27: 290-300. (Abstract).
- Sherald, J. L. (1993) Pathogenicity of *Xylella fastidiosa* in American elm and failure of reciprocal transmission between strains from elm and sycamore. Plant Disease 77: 190-193.
- Su, C. C., C. M. Chang, C. J. Chang, W. Y. Su, J. C. Chu, W. L. Deng and H. T. Shih (2013) Occurrence of pierce's disease of grapevines and its control strategies in Taiwan. Plant Pathology Bulletin 22: 245-258.
- Ueno, B., C. K. Funada, M. A. Yorinori and R. P. Jr. Leite (1998) First report of *Xylella fastidiosa* on *Catharthus roseus* in Brazil. Plant disease 82: 712.
- Wells, J. M., B. C. Raju, Y. H. Hung, W. G. Weisburg, L. Mandelco-Paul and D. J. Brenner (1987) *Xylella fastidiosa* gen. nov., sp. nov: gram-negative, xylem-limited, fastidious plant bacteria related to *Xanthomonas* spp. International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology 37: 136-143.
- WTO (2024) Notification Addendum G/SPS/N/KOR/622/Add.5 3 May 2024.
- XF-ACTORS (2018) First detection of *Xylella fastidiosa* in olive trees in Mainland Spain. European research on *Xylella fastidiosa*. (online), available from <https://www.xfactorsproject.eu/press_review/first-detection-xylella-olive-trees-mainland-spain/>, (accessed 2024-05-13).